

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【352】

2. 日 時：令和4年12月23日 10時00分～12時30分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、中村主任安全審査官、
谷口技術参与、

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他5名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他5名

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のチギラです。それでは、島根原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを始めます。
0:00:09	本日の説明項目は、
0:00:13	耐震計算書屋外重要土木の取水槽のコメント回答と、あと、地盤の支持性能の
0:00:20	解析用物性値のコメント回答となります。それでは資料の説明と、詰め方についてお願いします。
0:00:29	はい。中国電力です。それではまず資料の確認をさせていただきます。
0:00:33	資料は全部で 8 個ありまして、まず一つ目ですけれども、
0:00:37	N-S2 ほか 126 回 04。
0:00:40	回答整理表の加重土木構造物、こちらを資料番号 1 とします。
0:00:44	続きまして、N-S2 歩 026-01 回 05、
0:00:48	屋外重要土木構造物の補足説明資料、こちらが資料番号 2、
0:00:52	N-S に他に 5101、
0:00:56	回答整理表の取水槽、こちらの資料番号 3、
0:00:59	N-S2.200218 階 01、取水槽の地震応答計算書、こちらの資料番号 4、
0:01:07	N-S2.200219 階 01、取水槽の耐震性計算書、こちら資料番号 5 番。
0:01:14	続いて SNS2 歩 026-02 回 02、取水槽の補足説明資料、こちらの資料番号 6 番、
0:01:22	続きまして、N-S に他 056 回、
0:01:26	10、
0:01:27	回答整理表の地盤の申請の、こちらを資料番号 7 番、
0:01:31	続いて N-S に他歩 02301 回、10、地盤の申請の補足説明資料、こちらを資料番号 8 番とします。
0:01:39	資料はよろしいでしょうか。
0:01:42	はい。それでは本日三つの議題がありまして、すべてコメント回答となっておりますので基本的には 1 問イトウを形式で回答させていただきます。
0:01:52	また屋外重要土木構造物につきましては、一部回答、コメント回答以外の新規の説明もありますので、そちらの説明時間 5 分程度で説明する予定です。
0:02:01	進め方ですけれどもまず地盤の支持性能、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:04	衛星説明させてもらった後に取水槽、最後に屋外重要土木構造物という順番に進めさせていただきます。
0:02:11	それでは、地盤の申請の方から説明させていただきますよろしくお願いします。ここに説明者かわります。
0:02:23	中国電力竹中です。
0:02:25	資料番号 7 番の回答整理表の方、よろしくお願いします。
0:02:34	12 ページに、回答整理表 12 ページの方に、前回と前々回の取水管のヒアリングにおいていただいたコメントが 12 ページ載っておりますが、
0:02:46	五つコメントがあるのですが、
0:02:49	すべてが全般的にあんなコメントになってますので、1 度おさらいをした上で
0:02:57	回答していくというような形で進めさせていただきます。
0:03:01	はい。白伴、
0:03:06	前回のヒアリングにおきまして、ワダ丹羽における会計堆積物について、
0:03:11	当該会議で行った海底面探査、ボーリング調査、
0:03:15	海底地質調査に基づき、解析用物性値の
0:03:21	海底地質調査に基づき分布範囲を設定した上で、
0:03:24	分布範囲を踏まえた各構造物における海底堆積物の扱い及び解析用物性値の設定方法についてご説明いたしました。
0:03:32	ワダにも案内の場所において、海底堆積物と風化管を区分することの、ロジックが明確でないこと、また耐震性の評価にあたり保守性ということの考え方。
0:03:43	会計堆積物が薄く分布することに対する構造物へ与える影響、
0:03:47	深川とした際の地質断面図の取り扱い及び設計上の配慮事項について説明するようにというのを、コメントをいただいております。
0:03:56	資料番号 8 番の、
0:03:58	16 ページお願いいたします。
0:04:13	こちらにポツ 3 のまとめというところに示しておりますように、
0:04:17	海底堆積物の分布範囲につきましては、ボーリング調査、及び取水口取水管周辺における海底地質調査、括弧追加調査の結果から、
0:04:28	海底面調査の結果を裏付けることができましたが、追加調査実施範囲につきましては、取水口取水管周辺を重点的に実施したものであります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:38	また追加調査では、海底面調査におきまして、海底堆積物がないとする箇所にも、海底堆積物が薄く確認されています。
0:04:46	しかしながら、こちらに関しては岩盤の不陸部分に堆積したものであり、海底堆積物が面的に分布していないことを確認しております。そのため、少なくとも図 2-13 の海底面調査結果図の中に示した、
0:05:00	追加調査範囲については、海底堆積物が面的に分布していないことを確認したと、このような整理にさせていただいております。
0:05:08	続いて 77 ページお願いします。
0:05:16	海底堆積物の地質断面図、地質断面図上の取り扱いにつきましては、
0:05:21	17 ページにお示しておりますけども、
0:05:25	追加調査実施箇所につきましては、岩盤の不陸に、海底堆積物が分布しているため、当該箇所の海底面については、堆積物と岩盤が混在している状況でございます。
0:05:37	また、下部岩相の下下部の岩盤につきましては、ボーリング結果より、概ねCL級以上の安山岩または仰臥位凝灰岩であることが確認されているものの、
0:05:48	当該箇所の岩盤な取り扱いにつきましては、保守的に強度特性及び変形特性を落とした風化がんとして設定し、追加調査範囲につきましては、海底堆積物、ポツ、カガワとして整理いたします。
0:06:02	なお、図 3-1 に示す追加調査実施箇所以外の箇所につきましては、
0:06:06	明確な調査により、海底堆積物が面的に広がっていないことを確認できていないため、保守的に海底堆積物として整理し、整理するということで整理しております。
0:06:19	続きまして、30 ページお願いいたします。
0:06:33	先ほどご説明させていただきました実質断面図上で、海底堆積物、ポツ、風化が記載した箇所の解析用物性時につきましては、
0:06:43	概ねCL級以上の安山岩または凝灰岩であることが確認されているものの、保守的に強度特性及び変形特性を通した風化がんとして設定しております。
0:06:53	そのため、解析用物性値の設定につきましては、岩盤の中で最も保守的な第 1 速度層の解析用物性値を設定すると。
0:07:01	というような方針で、整理をいたしております。
0:07:05	また、30 ページの下段に書いておりますけども、岩盤の不陸に堆積しているもので、金田海底堆積物は、岩盤の不利益に不陸に堆積しているもので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:17	平面的に分布しないと考えられますが、薄くたまっていた際の影響について記載しております。取水管以外の構造物につきましては、海底堆積物と、対象構造物が十分に離れており、
0:07:28	かつ海底堆積物の層厚が薄いことから、影響は小さいと判断しております。
0:07:33	また、海底堆積物と近接する取水管については、F被覆コンクリートと接していますけども、海底堆積物の層厚が薄いため、これにつきましても影響は小さいと判断しております。
0:07:45	また、
0:07:47	12 ページから 15 ページにおきまして、
0:07:49	甲斐。
0:07:51	海底面調査の
0:07:53	調査方法の妥当性確認試験を陸上で行った結果を記載しております。
0:07:57	海底調査と同様の手法を用いて、陸上で確認試験を行い、
0:08:01	海底で盤と概ね同様の結果を獲られたため、海底調査が、海底堆積物の物の厚さを計測する手法として、
0:08:10	妥当なものであることを確認いたしております。
0:08:13	以上でコメント回答とさせていただきたいと思います。
0:08:16	以上です。
0:08:19	はい。規制庁チギラです。それでは、今説明いただいたコメント回答、コメントの 120 番から 124 番に対して、確認ある方、お願いします。
0:08:34	規制庁の江崎です。私から出したコメントで、基本的にですね、
0:08:40	しっかりとこの前議論した話が記載されてるので、概ね了としたいと思います。概ねといったのはちょっと確認があるんだけど、
0:08:49	一つはいわゆる
0:08:52	実績のない実績ないっていうか、いわゆる自立とかできの規格で決まってない時、いわゆる貫入試験なんで、
0:09:01	妥当性ということで 19-14 とかこの辺で要は陸上で
0:09:09	阿部試験試しをしてるという、
0:09:12	状態の写真があるんですけど、
0:09:15	ちょっと確認したいんだけど、
0:09:17	うん、写真だけだとさ、何となく岩盤なのか、岩石なのかよくわからないんだけど、これは事実的にはどうですか、かなり各かたいということですが評価はしてはいるんだけど、
0:09:30	いわゆる、そう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	ガム岩盤じゃなくて岩石であれば、貫入しなくなっちゃう可能性はあるんだけど、
0:09:37	そういった関係がこう改定の中でもあり得るのかどうかっていうことをちょっと聞きたいんだけど、いかがでしょうか。
0:09:44	はい、中国電力イワコケです。
0:09:46	そちらにつきまして資料の 12 ページをお願いします。
0:09:51	そちらに調査を行った箇所のちょっと引いた写真をつけているんですけども、今回調査を行ったのはこのサーバの中心のところで行っております、
0:09:59	その側面にはアノCL級の岩盤が老眼していることを確認しております。
0:10:04	先ほどの写真だとちょっとがんなのか、転石なのかってのは少しわかりにくいんですけども、
0:10:09	その側面で確認されているCL級がこの調査の位置でも確認されているということが確認できておりますのでこちらについては、岩盤をあたっているものとして実際は整理ができております。以上です。
0:10:27	規制庁の矢崎です。もしあれであれば、いわゆるこの試験、
0:10:33	要は実験場所を選んだ。
0:10:35	理由として今言ったような話があって、基本的にはそういった、
0:10:40	CL級でしたっけ、のぐらいの岩盤が面的に広がってるところを選定した、選定し、場所として選定してるっていう話を書いていただいて、
0:10:51	実際今、事実確認だけだけど、その改定のところは、確かに
0:10:57	1ヶ所とらえてるだけじゃなくて、何ヶ所か入らないことが確認してるんですかね、やっぱりちょっと、なんせ場所ちょっとずらしてとか、
0:11:04	その辺はどうなんですか。うん。
0:11:07	はい。中国電力イワコケです。19-6 ページをお願いします。
0:11:14	中ほどの少し下になるんですけども、黄色いハッチングしてるところで4行下になります。
0:11:21	転籍によって鉄筋防貫入しなかった可能性も考えられることから、一足制につき、周辺の3ヶ所以上を目途に計測を行い同じ深度あることを確認しております。
0:11:31	以上です。わかりました。うん。
0:11:34	しっかりその辺はちょっと。うん。
0:11:37	わかります、理解できましたんで、これだけ私としては結構かなと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:46	はい、規制庁竹田です。すいません。124番、コメント124番私が確認したかったところで、内容については概ね理解はしたんですけど、
0:11:57	最後のですね19-30ページのところで、
0:12:01	これまでのところの一番下の段落のまた書きのところって、
0:12:07	止水管、
0:12:09	以外の構造物についてはっていうことであつたんですけど、ずっとこれまでし、止水関東支社遂行ということで取水口も話もしていたので、
0:12:20	ちょっと取水口の話もちょっと言及した方がいいのかなとは思ったんですけどその辺はいかがですか。
0:12:35	中国電力の竹中です。取水口についてもですね海底堆積物が接している箇所ってというのは、基本的なアンカーコンクリートに接しているので取水口本体と接してはるわけではないということから、
0:12:48	影響がないと判断しております。
0:12:51	はい。そう。そのあたり、そういうふうに理解してますのでちょっと30ページにですねその旨、追記いただければと思いますっていうのが一つとですね。
0:13:03	そうですね。あと、19-24ページのところで、この取水口の断面があつて、
0:13:12	これはAA断面ということで、今、実際に施設評価の中で当間。
0:13:20	評価してる断面とはちょっと違うんですけど、それは取水口の中で今
0:13:27	二つの取水口の真ん中の投影断面という話があるんですが、そこはまたちょっと取水口の中でちょっとコメントも出していますので、
0:13:38	また回答いただければと思うんですけど。はい。
0:13:42	技術としてはのこのような断面を切ると
0:13:47	海底堆積物風化館というのが
0:13:50	コンクリートのところところに接する部分があるっていうのは、ちょっと、はい。触れといた方がいいかなと思いますので、お願いします。
0:14:02	実際にあの文章を、
0:14:05	を合わせて、実際の対処、
0:14:09	物は防波壁等、水路等、
0:14:13	場所取水口と水路、取水管化スズキ管と遂行。
0:14:18	倒産種類だよな。
0:14:19	それを何かちょっと表にして、実際どういうような、あそこの文章で書いてたと書いてる考え方が、実際設計にどう反映するん反映するのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:29	ていうのちょっとわかりやすく表示してもらおうと、そのあとの展開が、僕らも審査しやすくなるんで、できればそこまで書いてもらえば、
0:14:38	説明性が高いかなと思うんですが、いかがですか。
0:14:44	中国電力の竹中です。各断面において、その改正、実際その1のワダ2番の1の物性値を地質断面でどう書いてるかそれと解析用物性値としてどう設定してるかって言うのを、
0:14:57	はい。
0:14:59	で、それを表で表すということで理解いたしましたので、
0:15:07	はい。
0:15:08	理解いたしましたので、次回、
0:15:11	追加させていただきます。
0:15:13	その点については適正化のほう、はい、お願いいたします。
0:15:17	他に、今のコメント回答等、この資料に対してですね、確認する方が補填がある方はお願いします。
0:15:33	はい。規制庁の仲村ですけども、先ほどのコメント回答についてはですね概ね言いたいこととか、理解できたんですけどちょっと確認させていただきたいのが、
0:15:45	資料でいうと、19の、
0:15:48	16とか17とか、なんですけども、
0:15:52	19-16までは、例えばまとめというところで、会計堆積物(サ)礫層って公文書の中とか出てて、
0:16:02	その下に砂れき層という文書があるんですけども、
0:16:06	要するに、海底堆積物砂礫層って書いてるんですけど、19-17以降は、
0:16:12	海底堆積物っていうふうに、
0:16:16	例えば19-17ページでは海底堆積物って書かれてるんですけども、
0:16:22	一番下の方の行、下から2、2番目、2行目ですね。
0:16:27	書かれてるんですけど、これは違うということですかそれとも一緒ですか。
0:16:35	はい中国電力イワコケです。
0:16:37	業者は同じものですので記載を統一しないとちょっと混乱をさせていただきますので統一してまた修正させていただきます。はい。そういうことで、先ほどの説明自体ですね、言いたいことはすごい理解できたんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:53	ちょっとそういう言葉のところで、というのと、要するにこの湯田丹生案っていうのは、
0:17:00	海底堆積物ぽつ風化がんっていうのと、
0:17:04	海底堆積物というこの2種類があるっていうことですよ。そういうことが言いたいわけですよ。そうすると、その横の図の3-1っていうのも、
0:17:14	砂れき層って書かれてるのが、
0:17:17	極端なこと言うと白色にして、
0:17:21	海底碎石物ぽつ風化願って書くか書いて、今砂れき層って書いてるのも、
0:17:29	海底堆積物(サ)礫層ってするとか、なんかそういう、文章が一致してる方が理解しやすいなどは思いました。
0:17:39	いかがでしょうか。
0:17:42	はい、中国電力イワコケです。おっしゃられる通りで、海底堆積物、あと海底堆積物風化がんとか砂礫層、混在しておりますので、記載を統一化してわかりやすく修正させていただきます。以上です。
0:18:38	うん。
0:18:39	はい。規制庁仲村ですけど、正直私もこの19-17、読んで、まず、
0:18:47	どこのこと言ってるのかなとか、定義がどうなってるのかなっていうのが非常にわかりづらかったんですよ。で、最後まで読んで、そう。最後まで読んでもう1回見直したら、
0:18:59	こういうことが言いたかったんだっていうのはわかったんで、ちょっとさっきもこっちから話がありました通り、
0:19:07	言葉の定義とかしっかりしてもらった方がいいかなとは思いますがね。
0:19:12	はい中国電力清水です。おそらく、もともとですねこれ19ページの1、1です。海底調査をしてですねその時が眼下砂礫かというところからスタートして、
0:19:27	細かい調査をできたところはそういう区分ができたというところですね、どこでちょっと切り分けをするんかというところですね多分、今これぐちゃぐちゃになってるんだと思いますので、ちょっとそこら辺り整理してですね。
0:19:38	過去の結果も踏まえて今後どういう名称で使っていくかというところをですね明確にして、資料もここからがこういう名称だというところがわかるようにしてですね、対応していきたいと思います。ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:56	はい。規制庁中村です。そういう、先ほどの件についてはよろしくお願 い します。それに関連してちょっと気になっているのが、
0:20:06	19-19。
0:20:08	ページ 20 ページ以降の断面図のところなんですけども、
0:20:12	それと合わせるようなことになるのか、見直しになるのかわかんないで すけど、ここで凡例で例えば 19-19 以降出てくるのが、
0:20:22	海底堆積物って凡例で出てきます。例えば、19 の日、上の 1 断面って いうところで見ると、
0:20:32	おそらく会計堆積物って書かれてるのが
0:20:36	防波壁の下とかに広く割と出てきてるんですね。ここのエリアが一番で すけど、
0:20:47	何か水色の一番地表近いところが出てるんですが、これは、
0:20:54	泥岩というか、何ですか、ちょっと。
0:20:59	ていうのは、私も色が元わかりにくいなと思ったんですけど、
0:21:05	上にアバットのたまってるように見えたんですよ。
0:21:11	てことはやっぱり変えて+堆積物なのかなっていうところがあってそうす ると、
0:21:19	19-18-1 図で言う、癒しの 1、
0:21:22	ていうのと、何かちょっとイメージ合わないなって思ったんですよ。
0:21:28	だからちょっとそれは、
0:21:31	先ほどのまず、
0:21:34	凡例のところ聞きましょうか、事実として 19-19 で、
0:21:41	一番あれなのが 1 断面なんでここで一番上に載ってる水色の、
0:21:47	ところっていうのは、地層はこれは何ですかね。
0:21:54	はい。中国電力です。
0:21:58	青色、青色で 2 種類ありまして、頁岩の青色と書いて堆積物の少し薄 い青色がありますんで、
0:22:05	防波壁の下にある青色は頁岩の青色ですけども、海の方見るとその 頁岩のアオノ上に薄く、
0:22:12	薄い青で書いてある、海底堆積物、
0:22:15	が分布しているというのがまず、この地質のあらわしてることでございま す。
0:22:21	以上です。
0:22:50	1 断面の多分防波壁より右っかわは多分、
0:22:57	IKじゃないですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:06	ちょっとそれはですねもう一度確認していただいて、
0:23:16	あと、うか。
0:23:21	各それぞれの断面図と、
0:23:24	あと平面図の位置とか、本当にこの位置なんて合ってるのかとかですね。
0:23:29	ちょっとその辺の整合性がとれるように確認してもらって、
0:23:34	適宜修正っていうんですかね、わかりやすくしてもらいたいと思いますけど、いかがですか。
0:23:41	はい。中国電力横尾です。少しちょっとわかりにくくなっているところがありますので、1度持ち帰り整理した上でまたご説明させていただきます。以上です。はい。要するに、が違っちゃんって言われないうにですね、後で確認してください。
0:23:56	あと、もう1点だけつつ、引き続きこれは参考で言うんですけど、結局鉄筋挿入試験っていうか、それっていうのは、
0:24:06	要するに、
0:24:09	追加調査実施箇所っていうところが、そういう地質、薄砂れき層というのが、断続的に局所的に薄く入ってるっていうこと。
0:24:20	の説明だったと思うんですけど、もし可能であれば、今この湯田丹羽のところの地形、
0:24:28	海底の地形ですね、等等深線っていうんですかね、地表でいう等高線ですけどそういうのが、もし可能であればここにかぶっ重ねると。
0:24:38	おそらくこの辺っていうのは、割とフラットな地形になってて、
0:24:42	砂れきその辺りに、こう、谷地形みたいなところがあったまってるとか、なんかそういうフォローになるんじゃないかなっていうですね。
0:24:52	思ったんでもし可能でそれがあればと言うのと、
0:24:56	絶対っていうわけじゃないですけども、
0:24:59	もし参考にできるのであればそういうところも、
0:25:03	つけると、フォローっていうか、
0:25:06	堆積状況のですね、フォローというふうになるんじゃないかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。
0:25:17	はい、中国電力です。
0:25:19	海底地形と、この場所をちょっと直接、具体的に比較したことはないんですけども海底の地形のコンターはありますので、それをもとに、
0:25:29	より説得力のある説明は確かにできるかもしれませんが、それも踏まえた上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:34	記載のほうですね拡充を検討させていただきます。以上です。
0:26:12	参考についてということでちょっと確認してもらってですね、もしかすると、プラスアルファの
0:26:20	根拠になる可能性もあるというところでちょっと確認してみてください。私からは以上です。
0:27:34	規制庁の服部です。私からちょっと1点だけ事実確認をさせていただきます。
0:27:40	今回陸上で鉄筋貫入調査、
0:27:43	の確認試験をやったということなんですけど、
0:27:47	これってももとはこの試験の目的というのわあ、
0:27:52	あれですかね改定における、鉄筋防貫入
0:27:57	試験が一。
0:27:58	本当にその
0:28:02	海底堆積物を突き抜けて、岩盤まで届いてるかどうか。
0:28:07	というのを次黒陸上で確認した。
0:28:10	という位置付けなんでしょうか。
0:28:15	中国電力竹中です。はい。
0:28:18	その通りです。はい。
0:28:20	規制庁の服部です。
0:28:22	ちょっと若干気になったのは、やっぱり苦情とか
0:28:26	予定ではちょっと条件が違って、改定の場合は水圧による抵抗がありますよね。
0:28:32	あと一方でまた陸上の試験の時は、これセットは使ってるんですけど、
0:28:38	海底の場合はこれ大小浜を使ってるということかなりちょっと打撃力も違うなということで、
0:28:45	少しこの位置付けが不明確だになってということでちょっと確認をしました。
0:28:50	結局、
0:28:52	海底面堆積物を突き抜けているか、これで突き抜けるかどうかということ。
0:29:00	であれば、ちょっと、
0:29:04	これは本当にできるのかどうかわかんないんですけどその改定の、
0:29:08	海底面でのその水圧の抵抗だとか、
0:29:11	そのセットハンマーと大分ハンマーのその打撃力の違いだとか、
0:29:15	何かそういうのが何かうまく補正できないのかなと思ったんですけど。
0:29:19	それは難しいんですかね。
0:29:25	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:31	はい中国電力イワコケです。
0:29:33	確かに、陸上と水中で、パワーも違いますし実際すいません同じ鉄筋も使ってるんですけども、ハンマーが違うというところも事実でございます。
0:29:42	ただし、試験については何かいただくとかっていう、決まりを持ってやっているものではなくて、入らなくなるまで叩くというところで打撃の回数とかです、その辺りが海の方は、
0:29:53	多く叩いて結局入らなくなるまでやっているというところで、そういったことから海底堆積物を突き抜けて適切ながんのところまで管理ができていくものというふうに考えております。以上です。
0:30:05	規制庁の服部です。はいわかりました改定で十分叩いて本当に入れなくなるまでやってるということで、この下、陸上での試験はあくまでも参考でやってるという、そういう位置付けだというふうに理解しました。
0:30:18	ちなみにこの海底のこの堆積物、
0:30:22	これ
0:30:24	ここ以外のところのボーリング柱状図のコアの写真をみると、
0:30:28	なんか結構かたそうにも見えるんですけど、
0:30:32	薄く堆積してるところってのは結構柔らかかった
0:30:36	たんですか。これ結構、
0:30:39	はい。
0:30:40	ポンポンと高くと結構すずサクサクと入るような海底堆積物だったんですか、それとも結構叩いたんですがその何回たたいたとか、
0:30:50	そういうはそういう記録って何かとったりしてますか。
0:30:57	規制庁ハッタツツミの中の話。
0:31:09	はい中国電力イワコケです。
0:31:11	海のものについてはこの写真で見ると情報の情報しかちょっとまだ入手できておりませんで立てた回数もちょうど何回ぐらいまでいただいたのかということも確認できておりませんので、ちょっとまた確認して、
0:31:23	口頭でまたフォローさせていただきます。すいません少々お待ちください。
0:31:29	我々も陸上でやってると海でやってるところの違いとかです、そのあたり気になって、調査した人間にですねまた同じ人間がやればいいんですけど、やった人間に聞いてみるとですね大体その感覚的には同じようなものの調査の結果をやってるということなんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:46	海も陸も大体同じような状況でさっきおっしゃられた海で何か与えたかというのはちょっとわからないんですけど、その調査してる人間に言わせるとですね大体同じような状況だったというところがあるので、おそらく同じようなこんなイシイではないかなと思っております。
0:32:01	ちょっとなかなか文章としてそこは書きにくいところもありますので、できることを最大限やったということでご理解いただければと思います。
0:32:20	規制庁のハツリですはいわかりましたしっかりと十分叩いているということで、確認をしているということで、それ、そっちの方は理解をしておりますので、ちょっと確認までただけですのでよろしくお願いします。以上です。
0:32:44	はい、規制上チギラです。それでは今の地盤の支持性能のところについて、他、確認する方、よろしいですかね。
0:32:55	はい。
0:32:56	では次の説明の方をお願いします。
0:33:04	はい、中国電カイワコケです。それでは、二つ目のジャンル、取水槽の耐震計算についてこれから説明させていただきます。
0:33:13	資料回答整理表の3番、あと補足説明資料の6番をもとに説明させていただきます。
0:33:19	それでは資料3番の回答整理表の1ページをお願いします。
0:33:26	こちらは、
0:33:28	申し送り事項の回答になっております。コメントの内容としましては、
0:33:33	取水槽の漏水が懸念される場合には、線形ソリッド要素にて解析を行うこととし、詳細な解析方法については詳細設計段階において決定してまたご説明するといった内容の、
0:33:43	申し送り事項になっております。
0:33:45	こちらについて資料6番の600ページをお願いします。
0:33:57	はい。600ページの参考資料5としまして止水機能を要求される部材に対する漏水量評価について、資料を取りまとめております。
0:34:06	止水機能を要求される部材のうち、面内せん断ひずみがJ-R4601で規定されているスケルトンカーブの第1折れ点、ナンバーワンを超過した部材について劣するを算定しております。
0:34:18	なお、当初は漏水が懸念される部材に対してソリッドモデルを作成し漏水量評価を実施する計画でありましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:25	耐震評価の結果、面内せん断ひずみが当初想定よりも小さく、また面内せん断ひずみが、岩盤を超過する要素の範囲が限定的であったことから、
0:34:33	保守的な解析結果となるシェルモデルを使用しても評価可能と判断し、耐震評価で使用する線形シェルモデルにより、漏水量評価の解析を実施しております。
0:34:43	603 ページをお願いします。
0:34:48	評価対象部材の選定についてですけれども、漏水量評価を行うに当たりましては、複数の観点、津波であったり地下水であったりですね複数の観点のうち、
0:34:59	基準地震動 S_s を経験した後に、津波荷重を受ける。
0:35:03	こういった観点が部材にとって最も厳しい状態になると考えられることから、こういった観点到に着目して評価対象部材を選定しております。
0:35:12	評価対象部材は次ページ 604 ページの黄色で塗っている部材のうち、
0:35:17	赤い字で書いてある隔壁や中小本また青い字で書いてある分利益、こちら側の対象となっております。
0:35:24	606 ページをお願いします。
0:35:30	代表部材の選定についてですけれども、基準地震動 S_s に対し、3次元構造解析を実施し、算出した各部材の最大面内せん断ひずみ、
0:35:40	を表 4-1 に示しております。
0:35:42	耐震評価の結果中小番が最も面内せん断ひずみが大きく、かつ岩盤を超過することから、中小番代表部材として選定指導水量評価を実施しております。
0:35:52	次ページの 607 ページをお願いします。
0:35:57	ここでは、漏水算定のフローについて整理をしております。
0:36:00	算定のステップとしましては、ステップワンとして、基準地震動 S_s による漏水評価のための 3次元構造解析を行います。
0:36:08	続いて、この S_s 経験後の基準津波高さ、取水槽内連絡者 10.6 メーターの襲来を想定し、津波の静水圧を再開します。
0:36:20	この状態でステップ 3 として漏水量の算定を行う、こういったフローで検討を行っております。
0:36:26	609 ページをお願いします。
0:36:30	まずステップ案の 3次元構造解析についてです。
0:36:34	下の図に、今回着目している中小番のところに、赤丸や青線を示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:41	こちらで水平方向の相対変位が最大となる時刻の地震時増分荷重を算出して、
0:36:46	また当該荷重及び位相反転した同時刻の荷重、こちらをさ、算定しまして、3次元構造解析モデルに項番裁可をすると、こういったことを東西断面及び南北断面で行っております。
0:36:59	611 ページをお願いします。
0:37:03	続いてステップ2としましては、取水槽内における津波高さ10.6メートル。
0:37:09	に対してステップワンの結果を引き継いだ状態で、
0:37:12	この津波による静水圧を3次元モデルに再開します。
0:37:16	続いてステップ3としまして、ステップワンからえられるひび割れ面に直交するひずみを用いて漏水量を算定しております。
0:37:23	具体的な算定方法は以下の(1)から(5)に示している通りでありまして、
0:37:28	(1)番の中ですけれども、ひび割れ本数は要素内で1本としひび割れ長さは要素の端から端まで到達しているとする。
0:37:35	また(4)に書いてありますけれども、各要素に発生するひずみは、
0:37:39	シェル要素のトップとボトムのひずみを比較し、大きい値を採用しそのひび割れが貫通するものとして漏水量を評価すると、こういったところで保守性を見て、検討をしております。
0:37:50	613 ページをお願いします。
0:37:55	613 ページの下にですけれども、取水槽における津波水位の時刻歴は形を、1ページの図5-8に示しております。
0:38:04	津波水位が最高水位10.6メートルとなるのは、一瞬ですけれども、保守的に水位が中小番②の下端であるEL1.1メートルを超える時間の合計5012秒。
0:38:15	に対して、10.2メートルの津波が継続するものとして、漏水量を算定しております。
0:38:23	615 ページをお願いします。
0:38:27	以上のステップを踏まえまして評価した結果を、こちらに示しております。
0:38:33	評価の結果、循環水ポンプエリアの漏水に対する浸水深さは38.8mm。
0:38:39	となり、また海水ポンプエリアについては漏水が発生しないといったことを確認しております。
0:38:45	最後617ページにまとめております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:49	基準地震動Ssを経験後、日本海島縁部の地震発生に伴う津波、秋、基準津波が襲来した場合を想定した漏水量評価の結果、
0:38:58	取水槽の浸水深さは 38.8mmとわずかであり、影響が少ないことを確認しております。
0:39:04	以上がコメントに対する回答となります。
0:39:08	はい、規制庁で日浦です。このコメン等は許可の審査の時に、まとめ資料とかですなまとめていく中で、
0:39:20	ここは詳細な解析に伴うのでここについては公認で詳細に説明をしますということで、そこそういうことで
0:39:31	本人の中で説明をいただく通りそういった位置付けのものになろうかと思っております。
0:39:37	それで、今回説明していただいた参考資料 5 っていうのがそれに該当すると思ひ、思っております。はい。それでちょっと今参考資料がもう 600 ページからですね、617 ページの内容についてですね。
0:39:51	確認する点ある方について、
0:39:54	いらっしゃいましたら、確認をお願いしたいと思いますが、いかがでしょう。
0:40:09	規制庁の服部です。少し事実確認をさせていただきます。
0:40:14	この評価というのは、
0:40:17	先行でも、こういうパターンで評価されてるのかということを確認したくて、
0:40:23	綿Cの認識でわあ、
0:40:31	止水性の確保をするということは、
0:40:35	漏水がないようにする。
0:40:37	ということかなと思っていて、
0:40:48	規制庁の江寄ずっとどうぞ。
0:40:50	審査官が事実確認、事実をちょっと誤認してるところもちょっとありそうなので、私の方であれしますけど、
0:40:57	いわゆる他のところでもこれって津波というか、津波も含めて、
0:41:02	内部溢水も含めて、例えば原子炉建屋、高浜でもやってるんですけど、原子炉建屋内のところに、とかそういうSクラス施設、
0:41:12	タグチタテだったらおかしいから、Sクラス施設の中で、壁で、
0:41:17	その浸水評価したときに、ある程度Ssに対して、
0:41:23	ひずみが割と出てて、
0:41:25	そうした場合に、実際に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:28	どのぐらいの浸水量が見込まれるのか。
0:41:32	ということ。
0:41:34	一応確認はしています。
0:41:37	その中で行った時にこれってのは別に
0:41:41	流出なのか、漏水なのかという観点で考えていったときに、漏水とみなせるような量であればそんなに、基本的には、
0:41:50	問題ないっていう形にはなると思うんですけど。
0:41:53	今そのところで今は、服部審査官の話で、今出てきてるんだけど、いっすそこはもう絶対駄目っていうことではなくて、基本的にその指針水量、
0:42:03	角野ぐらいなのかっていうことでそれが、
0:42:05	事象として流出っていう大量に、
0:42:08	起きることなのか、漏水ということではちよろちよろ出てくるのか。
0:42:14	ドライサイトとかいろんな話あるけど、全然水入っちゃいけないって言うてるわけじゃなくて、
0:42:19	コンセプトとしては、
0:42:23	その程度感っていう話があるので、全く水が入らないっていうのをドライサイトっていう定義してるわけではないので、これは規制庁前家も一緒の話なんで、僕観点からすれば、
0:42:34	ある程度その漏水、
0:42:36	程度の問題であればということで、多分どのサイトも、特に古い施設に関してはそういうふうな話が出てくるんだと思うんですよね。
0:42:47	私の方でもちょっと確認したかったのが、
0:42:51	多分
0:42:53	この方法、
0:42:54	今、ひび割れ幅を出して、この漏水を出してるっていう方法のそのものが、今まで先行サイトで実績があったかどうか、それとも、
0:43:05	中部電力、中国電力が、今回改めて、
0:43:09	考えた、出した話なのかそこをちょっと確認したいんですけど、いかがでしょう。
0:43:15	はい。中国電力です。
0:43:17	こちらについては先行サイトも同様な言い方をしております、至近の先行である女川を参考にしております。違うところとしましては、ソリッド要素を使ってるかセルローズを使ってるかというところが違うところではありますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:29	対象とした時刻の選定であったり、漏水量の評価、日比野算定方法、そういったところについては同様の手法により検討しております。以上です。わかりました。一応女川で実績があるということで、
0:43:42	これとは別に耐震を面内方向でしたら、一緒じゃないと思うんだけど、
0:43:50	要は、空気のリーク量。
0:43:52	出す方があって建屋ど、それと同じ方法で計算してるのが高浜だったりしているんで、そこと多少の違いはあるでしょうけど多分、
0:44:02	この程度の、多分、
0:44:04	ひずみレベルであれば、大した力量がないということがわかっているんで、有井古謝湖空気じゃないから、漏水っていうか本当、
0:44:15	一滴って流れるような状態だと思うので、基本的にはそこには異存はないんですけど、
0:44:21	と思いますんで、私としては、うん。了解しました。
0:44:39	規制庁のハツリです。はい。それでこのようなやり方が先行サイトで実績があるのかどうかということについて、ちょっと説明をお願いしたいんですがいかがですか。
0:44:53	はい。中国電力です。
0:44:56	至近の先行サイトの女川で実績があってそれと同じやり方で、今回も検討させていただいております。以上です。規制庁の服部ですはい。わかりました。私から以上です。
0:45:16	はい、補分。
0:45:20	すいません。
0:45:22	今回は当初はそれ、許可段階ではソリッドモデルを想定してたんですけど、シェルに変えたっていうのは、これは
0:45:31	許可をして、それほどシェルでいけるだろうというここに書かれているんですけど、
0:45:38	江藤 600 ページですかね。はい。
0:45:44	これはソリッドでもやったし、シェルでもやったっていうことなんですかそれとももう修理でいけそうだなっていうところだったのかっていう。すいません。
0:45:55	ちょっと確認をさせてください。
0:45:58	はい、中国電力イワコケです。
0:46:00	衛藤取水槽の構造耐震評価についてシェルモデルを使っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:04	おりまして、今回もそのシェルモデルでできそうだということで、シェルモデルでやっておりますのでソリッドモデルでの検討まではちょっとできてないってところが実態です。
0:46:14	はい。わかりました。
0:46:17	うん。
0:46:18	よろしいですか。
0:46:28	規制庁の服部です今の件に関して 603 ページのところ
0:46:32	この観点 1 の部材、
0:46:35	で評価するってあるんですけど、
0:46:37	この観点 1 の部材で評価するというのは、
0:46:41	観点 3 まであるんですけど、観点 1 のところが最も漏水量が多いので、これを代表させて評価しておけば、
0:46:51	すべてが包絡されるという意味で、
0:46:55	観点 1 だけを選んでるという理解でよろしいですか。
0:47:00	はい。中国電力です。
0:47:02	この観点や観点さんの地下水位が幾らなのかとかそういったところまでちょっと書き切れてないので確かにちょっとわかりにくくて申し訳ありません。観点 1 の津波が浸水高さ 10.6 メーターに対して、地下水、
0:47:13	等はですねもっとそれより十分低い。
0:47:15	推移になっておりますので、
0:47:17	605 ページに書いてある観点 1 から 3 があるんですけども、そのうち、観点 1、これが最も厳しいケースということで選定して、今回検討させていただきました。以上です。
0:47:28	規制庁のハツリだから、最も厳しいケースでやっておけば包絡されるということなんですよね。わかりました。私から以上です。
0:47:41	はい。規制庁チギラです。
0:47:44	それでは今の内容については、
0:47:53	うん。
0:47:55	規制庁の三浦です
0:47:58	コダマではソリッド使って、今回関層を使ってるんですけど、漏水量評価で日比荒から求める場合には、関層の方が保守的な評価になると思うので、
0:48:08	この評価で十分保守的だと思います。はい。以上です。
0:48:19	はい、規制庁チギラです。はい、わかりました。
0:48:22	それでは参考資料 5 と当庫のコメント、詳細設計。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:28	申し送り事項のNoキド3については、了としたいと思います。
0:48:33	それでは、次の説明をお願いします。
0:48:36	はい、中国電力イワコケです。それでは資料3 回答整理表の2 ページをお願いします。
0:48:44	こちらの何、ナンバー1 とナンバー3 をあわせて回答させていただきます。
0:48:49	コメントの内容としましては、詳細時刻の考え方やその妥当性についてのコメントとなっております。
0:48:56	資料6 番の582 ページをお願いします。
0:49:05	ここに参考資料4 としまして、
0:49:11	582 ページですね。
0:49:13	582 です。
0:49:15	はい。
0:49:19	参考資料4 として詳細時刻の選定の妥当性についてということでこちらの参考資料4 の方に取りまとめております。
0:49:27	この評価の内容につきましては先日のヒアリングでも書いておりました、そちらの結果についてが前回数字というふうにさせていただいたものですので、やり方についてはちょっと簡単にご説明させていただきます。
0:49:38	587 ページをお願いいたします。
0:49:45	島根サイトでは、詳細時刻として26 時刻を選定しております。
0:49:51	この確認フローの説明ですいません。26 時刻を選定しております、この選定した時刻の詳細時刻包絡荷重、
0:50:00	これを算定します。また
0:50:02	全時刻の地震時荷重に対する全時刻包絡荷重を算定しましてこの両者の比較を行っております。
0:50:08	その結果、全事故包絡荷重に含まれていない地震時荷重の分布があるかどうかを確認し、それが確認された場合には、取水槽の耐震評価に影響を与える調査時刻かどうか。
0:50:20	といったことで検討を行っております。
0:50:24	588 ページをお願いします。
0:50:28	ここからが、確認結果のご説明になります。
0:50:33	比較に使用する地震動は、3 次元構造解析結果の本文の方に示す通り、曲げ及びせん断破壊に対する調査後照査値が最も厳しい
0:50:42	Ss-D-Plus解析ケース2 とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:47	各断面の諸調査時刻、包絡荷重と全時刻包絡解除の比較結果を、次ページの図 3-1 から 3-3 に示しております。
0:50:57	こちら 3 断面のそれぞれ比較の結果を示しておりますけれども、赤線で書いてるのが全時刻崩落の動圧で黒字、黒瀬に書いてるのが詳細時刻包絡する、炉圧となっております。
0:51:09	この両者を見ていただきますと、概ね一致していることがわかりますけれども、
0:51:13	下の方の①や②って書いてある定番付近の一部の範囲におきまして、
0:51:19	一部全時刻包絡荷重の方が大きくなっているといったことが見てわかるようになっております。
0:51:24	こちらにつきまして取水槽の耐震評価への影響を確認しております。
0:51:29	591 ページをお願いします。
0:51:35	表。
0:51:36	確認結果の 1 例としまして除じん機エリア東壁の確認の結果についてご説明させていただきます。
0:51:44	この図 3-4 の上の図ですけれどもこちらは先ほどの図 3-1 の再掲となっております、
0:51:49	東加部様の左側の壁。
0:51:52	を、今回の検討の対象としておりまして、この①番と赤字で書いてあるところ、
0:51:57	こちらで當繕事故包絡荷重が少し大きくなっているという結果になっております。
0:52:02	こちら、
0:52:04	小選定了時刻より大きくなっている時刻というのを抽出すると、18.98 秒と 8.86 秒という二つの時刻であったということが、
0:52:12	わかっておりまして
0:52:15	詳細抽出時刻と全時刻崩落の動圧を下の図で整理しております。
0:52:22	これを見ると、底盤付近だけでなく、中小番付近でも比較的大きくなっていることがわかります。
0:52:29	これは、
0:52:30	そう水平層、そう水平荷重が最大となる時刻として支店選定している時刻 4。
0:52:36	と、似たような荷重となっておりますので、
0:52:38	今度はこの時刻 4 と抽出した時刻との比較を行っておりましてそれを次ページ、図 3-5 に示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:46	この図の上側がまず、18.98 秒と詳細時刻 4 の比較、その下が図が抽出時刻 8.86 秒と調査時刻 4 の比較を示したものになっております。
0:52:57	こちらの黒線と青線で書いたドアツーを見ていただきますと、
0:53:01	両側面で同等の動圧となっており、その影響は小さいことがわかります。
0:53:07	このような検討によりまして、今回一部全時刻包絡荷重を整理すると、照査時刻の荷重より大きくなっているものがあるものの、
0:53:15	取水槽に対する耐震評価に影響はないというふうに判断をしております。
0:53:20	これ以降のページにつきましては、また違う断面や違う側壁に対して同様の検討をしておりますけれども、
0:53:27	大きくなっている荷重っていうものの分布であったりっていうのは今ご説明したところと、どれもこれも同じような傾向となっております。
0:53:37	ですので最後に 599 ページのまとめをお願いします。
0:53:44	以上により、詳細時刻の妥当性を検証するために、清佐治調査時刻包絡荷重と全時刻包絡荷重の比較を行いました。
0:53:53	詳細時刻の荷重より大きい荷重は底盤付近に大きく作用している荷重であり、取水槽の耐震性に影響を及ぼす荷重ではないこと。
0:54:02	及び現設計で実施している調査時刻の選定が妥当であることを確認しました。
0:54:07	以上でコメントナンバー一番と 3 番の回答とさせていただきます。はい。規制庁寺井です。ではちょっと今説明あった、コメント No. 1 と 3 人に対して、はい。確認する方を、
0:54:20	規制庁の江寄です。
0:54:22	えっとですねこれは椎野方から出したコメントで、いろいろ分析していただき、ありがとうございます。ただね、
0:54:32	いろいろ今説明受けてわかったんだけど、ちょっと文章がわかりにくいんだと思っていて、それと、
0:54:39	実際に、あれなんですよね。
0:54:43	いわゆる言葉の定義がわかりにくくて、例えば、
0:54:47	全時刻崩落等、
0:54:51	清佐治国保包絡、これって文章中で、明らかに定義した方がよくて、今の話でわかったんだけど、
0:54:58	12 は、
0:55:01	合わせた。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:03	時刻ですよ。多分。うん。
0:55:07	嘘で、1 番目に、
0:55:10	あたりに対して只野球児国から 80 億あって、
0:55:15	それを全部、
0:55:19	断面ごとにやるから多分、9 ×
0:55:23	12、
0:55:25	9 時刻掛ける、
0:55:29	12 月は 1 断面合同検討してるから、そう言った。
0:55:33	の中で一応、最大包絡、ラグーン最大包絡したものが、
0:55:40	全国包絡。
0:55:44	調査地 A 照査自覚時間の崩落ですよ。時刻に関して言うと、それぞれの
0:55:51	サンパ 1 断面ごとに 3% あるものの全時刻の中の最大値を包絡したもののってことですよ。その辺の言葉の定義をしっかりと何かしておいていただいてちょっと初めこれ何が。
0:56:03	初め、これを見てもらったのかって言うと、これ、
0:56:06	地震動ごとにないなんて話があって地震動の合計なのかどうなのかってことで
0:56:11	フローを見ると書いてはあるんですけどね、その辺の文章だけ追っていくとちょっとわからなかったりするんで、その辺はちょっと明確にしてくれた方がわかりやすいかなと思ったんですね。
0:56:22	で、
0:56:23	あともう 1 個、ただ、代表的なところで言うと 591 ページの、
0:56:28	表の中のです。図のですね 3-4 の、
0:56:32	いわゆる下の方ですね、抽出時刻の方なんだけど、殊、中国、
0:56:37	できるだけ書かれると、これは、
0:56:40	設計の中で、
0:56:42	庄田時刻読んだとかいろいろ言ってますよねその事故、その設計に反映した時刻なのか。
0:56:47	どうなのかわからないので書き方としてはこれ、さっきからすると、
0:56:53	いわゆる②。
0:56:55	いや丸井、①で、例えば、
0:57:00	操作時刻包絡を超えた、①の範囲で発生している。
0:57:07	時刻が例えば 18.98 を、②の方が 8.8 だとか、そういう書き方してくれるとわかりやすいんですよ。うん。だから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:16	やろうとしてるのはあれですよねだから、
0:57:19	まず上の方で、
0:57:21	包絡値同士で問題点がないかどうか確認した上で、
0:57:27	同時刻のモードで本当に、例えば、局部的に多くてこのほど全体から言う とほとんど荷重がすっからかんみたいな感じで小さかったら、それはもう、
0:57:38	排除できるんじゃないかとそういう、
0:57:41	ねらいもあってこうしてると思うんですが、同時刻同士で確認してるって いうことは、
0:57:47	ていうかこで、ここに関して言うと、その分布図として同時刻で発生した のかっていうのを見てるんだと思うんですよ。
0:57:56	だけど何を言いたいかっていうと、
0:57:58	それが書いてないのと、自主的に見ていったときに、
0:58:03	狐禅寺国のところへたところが、
0:58:06	18.98 とか 8.86。
0:58:09	ということには間違いないんですよ。
0:58:11	で、そのときの動直のモードとして、
0:58:15	基本的には、実際の
0:58:17	調査時刻 4 とかで、
0:58:20	比較してはいるんですけども、
0:58:24	それでね、一つ気になるのは、本題に入るけど 591 ページの、
0:58:30	一番上見ていくと、
0:58:32	表のね、表と図のね。
0:58:34	これで①のところが多分左の方で言うと、
0:58:39	下から三つ目のところ、ここって、基本的には、
0:58:44	全時刻包絡。
0:58:47	だけ出ていって、591 ページですね。
0:58:53	いわゆる操作時刻っていうか、設計には反映されてないっていうか 0 な んだよねそこね。うん。それすぐ聞きになっておんなじところが、
0:59:01	右の方にもありますでしたからさ、二つ目から三つ目。
0:59:06	下手するとこれ
0:59:09	設計値としては出てないんですかね。
0:59:11	設計としては入ってない。
0:59:13	なので、確かに一番大きいところは底盤に当たるので、さっきのまとめ のところで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:19	テーマの軸力ぐらいしか、後、底盤から外れても剛域があるんで、割と軸力的な、
0:59:25	影響しかないというふうにはいえるかもしれないけど、
0:59:29	一番、
0:59:32	同構造と厳しいのは、
0:59:36	パラペットがあるかパラペットもすぐ強力に厳しくなるんだけど、
0:59:41	パラペット以外でいうところ、側壁の方ですよね底盤とつけない子が普通で言うと、
0:59:48	一番厳しくなって、それがつり上げを打つモーメントとしてつり合いが出るのは待て、その接合部の底盤分ですよね、このL字のところが一番。
0:59:59	厳しいと言われているので、
1:00:01	ちょっとここに関してはもう少し、
1:00:05	検討が、評価が、
1:00:07	必要かなと思うんですがいかがですかね。例えばね、
1:00:11	3次元でやるのも一つかもしれないけど、この程度感っていうのが、多分、
1:00:16	そのつけ根能勢せん断厳しくなるでしょう。曲げモーメントは多分鉄筋でかなりもともと入ってるから、
1:00:23	負けて壊れるとは思っていないんだけど、
1:00:26	ともかくも土木構造物剪断が厳しいので、1000、せん断先行型っていうか、せん断破壊先行型といっても、
1:00:33	おかしくないぐらいせん断がいつも厳しくなるので、そうすると、この部分って、
1:00:37	何とかDBOで、
1:00:40	戻すよっていうことで、ミナカワ、
1:00:43	設計士とか、研究者は、
1:00:47	やってたわけなんで県の検討研究してたわけなんでそこから考えると、ここってのはちょっと、
1:00:54	見過ごせないなと思っていてそこは何か評価する必要があると思うんですがいかがですか。
1:01:05	はい、中国電力イワコケです。
1:01:07	今の点につきましては、これ確かに3要素ほどですよね底盤から大きくなっているところがありまして下の二つは、底盤の軸力に作用するところで、下から三つ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:18	選定時刻では全く考慮されてないところに、今回抽出した時刻では出ているというところで、
1:01:24	そういったものが実態です。で、側壁については、確かにこの位置が調査としては厳しくなるんですけどもドアとしては、
1:01:32	もう少し高いところの動圧がですね、この側壁の評価には厳しい動圧になるものと考えておりますので、
1:01:39	そういったことから、指標化までは不要としましたけれども、確かに今言われた通りですね、
1:01:46	はい。やってみないとわからないところもありますのでちょっとその評価の方法については検討させていただきます。
1:01:51	規制庁の江崎です。何もかもすべて3次元でやれば進むか話かもしれないけど、ここだけの話でそ、どれだけ今言われてるような話。
1:02:01	ただ、その数値的な定とか、オーダー感とかな、そして
1:02:06	基本的に荷重はこれだけじゃないんで長期の荷重も、
1:02:10	ちょっと荷重もこれは入っているのか。
1:02:14	うんFLIP冬、一応あれだよ非線形解析で、二次元で入ってるから、
1:02:19	うん。
1:02:22	うん。
1:02:24	長期の荷重も入ってはいるんだろうけど、実際に、
1:02:28	どのぐらいの違いがあるのかっていうことで基本的には例えば、
1:02:31	曲げとかせん断が単純に言ったらね、片持ち、両端固定張りで考えたらどのぐらいの差が生じるものなのかっていうその比率が設計値として、
1:02:44	設計荷重まだ設計の能力。
1:02:46	これ、線形じゃないけどさ。うん。
1:02:50	それに対してどのぐらいの程度感があるのかっていう話は、まずは、
1:02:54	簡単な確認からした上で、どこまで安全性を担保するっていうことを説明として信頼性得る、
1:03:03	説明として必要なのかと考えてちょっと考えた方がいいと思うんです。いきなり3次元っていう凸結構時間かかっちゃうでしょうから。
1:03:10	まずその辺からちょっといろいろサーベイしていただいて、
1:03:13	こういったところが、基本的に一番、
1:03:16	リスクの高いクリティカルなリスクの高い、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:19	1として、何ら問題がないっていうことであればそれをまとめ、兵庫まとめのところに、評価として入れていただきたいと思うんですがいかがですか。
1:03:31	はい。中国電力です。承知いたしました。今いただいたコメントを踏まえて、検討させていただきます。またすいません、その前段でおっしゃっていただきました言葉の定義についてですね、
1:03:43	確かにわかりにくいところがありますので、次回ですねこの定義を明確化してまた説明させていただくんですけども、今の説明された中でちょっと一つ、認識がちょっと、
1:03:53	違うところがありましたので補足させていただきますと、
1:03:55	詳細時刻 26 時刻、9 時刻 90 億 80 億って 3 段目に選んでる。
1:04:01	ものですね。
1:04:03	それに先ほど地震動も踏まえてっていうことでしたけれども、
1:04:06	今回のこの比較に当たりましては、それ掛け地震動をすると余りにも膨大なものになりますし、それを全部包絡させた動圧同士の比較にすると、何の比較をしてるのかってのはちょっとなかなかわかりにくいところもありますので、
1:04:19	588 ページ。
1:04:22	の 2 行目からですね記載させてもらってますけれども、
1:04:25	曲げせん断破壊の照査のうち照査値が最も厳しいアノSs-Dのマイナスプラス解析ケース 2、こちらに対して 26 時刻、また、
1:04:36	この地震動に対する全時刻の包絡荷重を比較しておりますのでその辺もちょっとわかりにくいところがありますので、定義を明確化して適正化させていただきます。以上です。
1:04:47	イチセノザキ率わかります。わかりました。結構。
1:04:51	かなりか、数が多いんで、1 センター甲斐センター甲斐が先行するような部材が多い、水ピットで言えばそういうふうな選定になると思うんですが、
1:05:02	そういったことも含めてどう、どう、誰に何をやっているのかがちょっとわかるように、
1:05:08	ししていただければ結構です。
1:05:11	で、
1:05:12	ここの場所等はちょっと外れるんだけど、実際にコメントからちょっと外れるんだけど、どうしてもこれを見、ここを見ると、
1:05:19	基本的には、こっちの本文の方の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:23	自国選定の方、
1:05:25	243 ページから始まるどころ、どうしても見見えていこうとするんだけど、
1:05:31	結局これってあれだよ。前、以前
1:05:35	コメントが出てて審査官から結果が、
1:05:38	抽出時刻がわからないよねっていう話はしてたんだけど、結局、全国 1 を対象にしている、
1:05:48	さっきのページに戻るけど、
1:05:54	ページで、ページが飛んじゃって申し訳ないんだけど 586 ページで、これがいわゆる、さっきのところの、
1:06:01	あれですよ。うん。結論なんですよ。この辺の結論が、基本的にここみないとわかんない状況。
1:06:08	になってて、
1:06:09	そうすると本文を、要は、本文の方のいわゆる
1:06:16	計算が何通に対して 3 次元をやっていってるのかがちょっと見にくくなってるんだけどこれこれって、
1:06:24	図 2-2 の、あれってどっかにも出てくるでしたっけ、本文の方にも、今日の資料はあまりも大量に厚くて、
1:06:31	すぐ見つからなかったんですけど、
1:06:39	中国電力です。少々お待ちください。
1:06:53	はい。中国電力です。先ほどの図は、30 ページの方に、同じ図を記載しております。以上です。
1:07:00	ちょっとあの場所が余りにも前段すぎちゃってるんで、
1:07:05	さっきのいわゆる選定時刻、
1:07:08	方針は、ねえ、ある程度書いてあって、
1:07:13	代表者秒数が書いてあるんだけど、じゃあ、設計は何してやっているのかっていうのは、ちょっと明確になってなくて、例えば、
1:07:22	全国ありますよ。
1:07:24	結局電力やってるわけですよ選んだものに対しては、
1:07:28	そういったことを何かどっか記載した方がいいかなと。そうしないとなんか結構繋がりがなんか見にくくて、うん。
1:07:35	さっきのさ、説明していただいたところとの関連性もちょっと見不透明になっちゃうんで。
1:07:41	その辺はちょっとわかりやすく観点で言葉は、
1:07:45	やっていることはちょっと多め明記してください。
1:07:50	はい中国電力です。承知いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:53	この選定結果またその選定した時刻、すべて評価していることについてわかりにくい状態になってますので資料のほう適正化させていただきます。以上です。
1:08:07	規制庁の服部です。
1:08:09	この 587 ページのフローって前回もついてたんでしたっけ。
1:08:16	規制庁のハットリツアー、まあいいです。ちょっと、今回、確認結果が詳細に示されたことで、この 587 ページのフローの考え方が非常によくわかりましたので、
1:08:29	コメント番号 3 番については了といたします。以上です。
1:08:46	大丈夫と思ってただけ。
1:08:48	完全大丈夫だって言い切れる材料がそろえば、うん。
1:08:54	もう一つかな。はい。
1:08:56	規制庁チギラです。それでは先ほどのコメントNo. 1 については、ちょっと適正化とかですね、あるとは思うんですけど、ちょっとまた継続ですね、またちょっと整理していただいて、それでまた改めて回答いただければと。
1:09:12	いうふうに思いますので、よろしくをお願いします。
1:09:15	それでは、次の説明をお願いします。はい、中国電カイワコケです。それでは資料 3 番回答整理表の 2 ページ、
1:09:22	お願いします。
1:09:29	はい。続きましてナンバー5-5 目、回答をさせていただきます。
1:09:34	こちらのコメントにつきましては、除じん機エリアの解析モデル、
1:09:38	の作成の考え方について説明することといったコメントでございます。
1:09:42	それでは資料 6 番補足説明資料の 58 ページをお願いします。
1:10:02	滞留水。
1:10:05	はい。58 ページの、
1:10:07	中ほど黄色いハッチングをかけているところの、とにかく断面で、モデル化をしている部材について記載しておりますけれども、その下から 3 行目ですね。なお、
1:10:17	除じん機エリアAA断面の解析モデル化については構造が複雑であることからモデル化に使用する部材を図 3 の中に示すということで記載しております。次ページの図 3-10 をお願いします。
1:10:30	こちらの図に、平面図、縦断図、またAA断面の解析モデル図を示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:36	まず、解析モデル図の縦方向の赤線を書いてある部材につきましては、
1:10:41	平面図で書いてある除じん機エリアにある、南北方向に走っている部材、
1:10:47	こちらの赤瀬塗っている部材を対象にモデル化をしております。
1:10:50	このような状態になっておりますので断面を切る位置によっては、側壁の中になく隔壁が2枚の断面もあれば、5枚の断面があるといったところを含めてモデル化をしております。
1:11:01	また、解析モデルの緑やこいや雨水水色で書いてある水平方向の部材につきましては、
1:11:08	右上の縦断図に書いてあります、緑や青、同じ色で塗ってあるところの抽象は、
1:11:14	こちらについて解析モデルの中に、同じようにモデル化をしております。
1:11:19	このように対象エリアのうち、どの部材をどの梁要素でモデル化をしているということが以前わかりにくかったのでわかるように記載を拡充させていただきました。以上です。
1:11:31	はい。規制庁の千明です。それでは、確認をお願いします。
1:11:37	規制庁の三浦です。まず説明をしていただいて、
1:11:42	大体イメージはできてきたんですが、まだ少しく理解しきれないところがあるので、ちょっと確認をします。
1:11:49	資料、
1:11:53	5ですね、資料5の、
1:11:56	4ページですか。
1:12:00	耐震性についての経産省のところ4ページに図面出てますよね。
1:12:05	まず一つ確認をさしてもらいたいのが、
1:12:09	この下の断面図のA断面を見ると、一番上に、これスラブがあるじゃないですか。
1:12:17	これが今、動的解析モデルの中ではモデル化されてませんよね。
1:12:23	これはどうしてですか。
1:12:33	多分部分的だから無視したかないかなんかなたまたまダンメンではこのスラグ現れたってということなんですかね。
1:12:41	ちょっとまずそれを教えてください。はい。中国電力ヨシツグでございます。ここはスラブというちょっと梁のような構造でございます、
1:12:51	ここ除じん機エリアでございます

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:54	基本は上が空いておりますしてクレーンで除じん機の点検で外したりとかそういった空洞が大きい。
1:13:03	スラブのところでございますんで、ちょっと今のこのAを切っている。
1:13:09	位置がちょっと、
1:13:11	これね、少し気になったのは例えば、6ページの今度D断面見ますよね。
1:13:19	そうすると、断面で切られてるところっていうのは、今のような、スラブのようなものがないんですよ。
1:13:31	どう、どうなってんのかなっていうところがパイプでちょっと理解できないんですね。
1:13:36	はい。中国電力ヨシツグでございますそちらの今の6ページ、何のシバタ。
1:13:42	4、5は5番の資料の6ページの、
1:13:45	すいません土岐照屋氏の位置がちょっと正しく
1:13:48	なくてですね、それよりもあの日、このいうと左側南側のところの場合は出っ張りの部分を変えるってことで、当初この位置が除じん機エリア、
1:13:59	の中心位置でございましたのでこの一位でモデルを切って、モデルといいますこの絵を切っておりますとちょっとそのあと、土肥ウヤ氏を切っている位置がちょっと
1:14:11	すいません、北川の方にずれているということで、
1:14:15	ちょっと誤解を招くような資料になっておりました失礼いたしました。
1:14:37	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっとすみません、縦断図と横断図の癒しの位置、あと構造としてどういったところを見ているのかっていうのが、すいませんわかりにくい資料になっておりますので、
1:14:51	ちょっとモデル化にあたってはコガの重要な構造物として反映しているところで配筋図等もお示しすべきところを、本来切るべきところでございますので、
1:15:04	ちょっと癒しの、位置と実際のモデルの考え方のところと合わせて、ちょっと図面も含めて再度確認をさせていただけたらと思います。はいそれともう1点なんですけど、
1:15:17	4444 ページを見るとね。
1:15:21	4ページを見る等んで、この断面図見ると、6本の導入兵器があって、通りウエキですか。その上に2本、
1:15:32	動いてますよね。
1:15:34	それが多分、補足説明書だから6番の59ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:41	59 ページで記載されている。
1:15:45	平面図の、
1:15:47	真ん中に本と、
1:15:49	その先ほだし、資料 5 の 4 ページの上の、
1:15:53	日本っていうのが一致してるんだと思うんですよ。
1:15:57	そうすると、なぜそれが、
1:15:59	平面図に記載されてこないのかなっていうのもわからない。
1:16:04	植野。
1:16:10	はい。中国電力です。
1:16:13	確におっしゃられる通りで、平面図の中で、この中商売上にある隔壁 2 本、
1:16:19	についても同じくし、点線で書かれてしまってますね、江藤植松、続いでる各駅とそうじゃない隔壁の区別が平面図で明確にされておきませんので、
1:16:29	こちらについてすみませんわかりにくくなっておりますので修正させていただきます。
1:16:51	うーん。
1:16:53	とにかく、ちょっと今図面とね、今言ったモデルが一致しないんですよまだ。
1:16:59	先ほどちょっとご説明いただきましたけどもそれだけでやっぱりちょっと原ないので、
1:17:04	見比べていくと、やっぱりちょっと不思議なところが結構あるので、
1:17:08	もうちょっときちっと説明をして欲しいってことと、あともう 1 点なんですけど、今度は、
1:17:15	それで今度資料 6 の 139 ページ見ていきますよね。今度 3 次元の構造解析モデル。
1:17:24	もう、
1:17:25	卑しいが出てきますよね。
1:17:27	これで、今度は逆に先ほどご説明なられた、
1:17:33	針の件わかったんですけど、例えば、59 ページで今ご説明なられた、
1:17:40	その上の方の、何ていうかな、日本、真ん中に本平面図にちょっと点線で囲んで、実線で書かなきゃいけないって言われた壁は、これ、どこにモデル化されてるんですか。
1:17:56	分離費が 5 万円あって日本、真ん中の日本が長いですよ。それが、
1:18:04	この解析モデルを見る等、それが現れてないような気もするんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:10	井川ですか。
1:18:11	はい。中国電力岩岡です。確かに、このA断面と3次元のモデルがちょっと不整合になってしまってますちょっと。
1:18:19	こちらにつきまして先ほどのモデル、
1:18:21	これも含めて断面の追加とかですねその辺も、
1:18:25	加えた上でちょっと理由を整理してですねまたすいません別途回答させていただきます。これなんかねやり直すの大変だからあれなんだけど、これよくよく見ると本当そうなんです。先ほど言ったように本当の躯体形状と動的解析モデルの関係。
1:18:41	今度はそれを3次元の構造解析モデルに行ったときに、
1:18:46	動的解析でモデル化されてるものがここに反映されてるのか。
1:18:52	という繋がりがですね正直言ってわかりません。
1:18:57	ちょっとそここのところは、もうちょっと細かくきちっと説明をしていただきたいんですがいかがでしょうか。
1:19:03	はい。中国電力イワコケです。申し訳ありませんでした。確かに不整合もありますしわかりにくい状態になっております。複雑な構造をしておりますので、断面もこの三名にとらわれずにですね、特に補足説明資料の方では、
1:19:16	わかるような断面を追加をした上で、再度整理してご説明させていただきます。以上です。はい。よろしく申し上げます。私からは以上です。
1:19:28	はい、失礼イトウチギラです。それではコメントNo.5については、継続ということで、また引き続きですね整理いただいて説明をお願いしたいと思います。
1:19:40	それでは次のコメントの回答お願いします。はい、中国電力イワコケです。それでは資料3番、回答整理表の2ページをお願いします。
1:19:50	コメントNo. 6番です。
1:19:53	こちらのコメントにつきましては、平均化範囲を1倍程度に、2倍未満とした妥当性について説明することといったこととさせていただきます。
1:20:01	こちらにつきまして、建築学会の基準を踏まえまして平均化範囲を断面厚さの1番以内に見直すこととしました。
1:20:10	現在ですねその見直したことによる検討を今実施しているところでございまして、その結果については別途、また次回ですねご説明させていただくということで、
1:20:20	このコメントは継続となりますけれども現状を説明させていただきました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:24	また
1:20:26	はい。
1:20:28	また
1:20:29	はい。
1:20:32	規制庁の三浦です。一番目ということで見直しいただけるとそれは了解 なんですけど、
1:20:38	見直していただくときにですね、
1:20:41	補足資料 6 番の 363 ページからだと思うんですが、これ至近のひずみ を平均化してくる必要があるってことで、
1:20:50	入られてると思うんですけど、こん中で、
1:20:53	括弧で書かれてるのが平均化ひずみをした場合だと思うんですよ。
1:21:00	例えば、363 ページの表の 6-69 見ていくと、核兵器。
1:21:08	という部分で括弧で 121、詳細詰め 594 とかって数字ありますよね。こ れは平均化された値ですよ。
1:21:16	で、
1:21:17	今回 1 杯で見直していただいて、書くんですけどこれ平均化前のもう併 記していただきたいんですよ。
1:21:25	平均化前のピークが幾つで、おそらく許容値の 1725 から 2000 とか、そ んな数字が出てくるんだと思うんですね。でその平均化の、
1:21:34	結果として、こういう数字になりましたっていうのを、今回見直す時に、 あわせて併記していただくようお願いしたいんですが、いかがでしょう か。
1:21:45	はい、中国電力イワコケです。今の件承知いたしました次回、そのよう にして、結果もまた書いたものをつけてご説明させていただきますすい ませんお願いしますそうすると建築の方の書類等も一致してくるので、 よろしくお願いします。
1:22:03	はい。では、これは引き続き継続ということで、次お願いします。
1:22:09	はい、中国電力イワコケです。資料 3 番回答整理表の 2 ページ。
1:22:14	コメントナンバー 7 番について説明させていただきます。
1:22:18	こちらについては応答加速度のうち、大きなピークみたいな値が出る ものに対する考察を記載することといったコメントでございます。
1:22:27	資料 6 番の 638 ページをお願いします。
1:22:40	こちらの参考資料 8 に、地震をと。
1:22:43	解析結果に対する考察という参考資料を追加させていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:47	まず、CC断面についてですけれども、CC断面では、表 2-1 に示すケースにおいて他の地震動と比較して数倍程度大きな応答加速度が算定されております。
1:22:58	下にその対象となった解析ケースを示しております、
1:23:01	地震応答解析手法としましては全部、ケース 1 から 3 ですのでFLIPで地震動についてはS _s -D。
1:23:08	となっております。
1:23:10	次ページ以降に、それぞれ加速度分布図を示しております、赤い丸で囲っているところ、こちらに大きな値が出ているというものでございます。
1:23:19	641 ページをお願いします。
1:23:23	こちらに解析結果に対する考察を記載しております。
1:23:27	特定の地震動において数倍程度大きな応答加速度が算定されていることがわかっておりましてこちらについて、下に、
1:23:34	加速度時刻歴は形を示しております。
1:23:37	これを見ると赤い矢印で書いてあるところですが、極めて局所的にパルス的な応答加速度が生じていることがわかります。
1:23:44	このように地表面付近では構造物地盤間に配置したジョイント要素に生じる引張応力に起因する、剥離再接触が高頻度で繰り返されることが想定され、
1:23:53	再接触時に急激に剛性が復元することによりパルス的な応答加速度が生じたものというふうに、考察を記載しております。
1:24:01	続いて、次ページですけれども、同じくD断面、これ南北断面になりますけれども、
1:24:06	こちらの図 2-9 で示す赤丸の位置、こちらについても大きな加速度が出ているということでこちらの考察も下に記載をしております。
1:24:16	こちらについては、D断面の解析モデル図を次ページの図 2 の中に示しておりますけれども、
1:24:22	対象箇所であるミナミつ真壁において下部は北側に面内要素が存在するが、上部はみんな要素が存在せず片持ちばりのような状態となっております。
1:24:32	他の鉛直部材は平面要素に接しており応答加速度に急激な増幅が見られないことから、
1:24:37	片持ちばりの先端部における応答加速度の増幅が、
1:24:41	今回の要因であったというふうに考えております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:44	以上でコメントか、No.7に対する回答となります。
1:24:52	規制庁の三浦です。文責ありがとうございます。
1:24:56	これジョイント層の接触でこういうところって書くんですよねだから実際のゴトウと違うんですよね。
1:25:02	解析上出てきてしまう。
1:25:04	冒頭なので本当フルタかけてもいいぐらいなのかもしれないですねまだ設計的にはただそれを見込んできて加速度で取ってるので、報酬がなってるんで、
1:25:13	いっていいことで理解しました。
1:25:16	それと、ちょっとこれ一つお願いなんですけど、643 ページなんですけど、
1:25:23	ここに書かれてるように、
1:25:26	この水平方向の具、
1:25:29	やつは平面ひずみ予想平面予想とくせしてないんだっていうご説明でまさにその通りだと思って見ていたんですが、643 ページの図の 2-10 を見ると、
1:25:41	平面ひずみ要素が非常に見にくいんですよね。
1:25:44	これ、薄くて、
1:25:47	ヨーク見るとは確かに繋がってないなっていうなとわかるんですがこれちょっと色を変えてもうちょっとはっきりわかるようにしていただけませんか。すいませんお願いします。
1:25:56	はい中国電力です承知しました色を修正させていただきます。
1:26:01	いやあもう本当に何か、
1:26:10	はい、規制庁チギラです。今のコメント、
1:26:14	回答に対して、他何かありますか。大丈夫ですか。
1:26:18	よろしいですかね。
1:26:33	困るのは、自分たちじゃないか。
1:26:37	はい。
1:26:38	はい。それではちょっと適正化していただくところがあると思いますけどこちらについては、はい。病棟いたします。では次お願いします。
1:26:47	はい、中国電力イワコケです。資料 3 番回答整理表 2 ページをお願いします。
1:26:53	最後のコメント回答になりますけれどもナンバー 8 番ナンバー 9 番をあわせて回答させていただきます。
1:26:59	こちらは取水槽の北側にあります全カクダクト部のモデル化。
1:27:03	に関するコメントでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:05	資料⑥資料 6 番の 554 ページをお願いします。
1:27:19	参考資料 3 としまして 3 次元構造解析モデルの妥当性についてという資料。
1:27:24	によりご説明させていただきます。
1:27:26	この 554 ページからの前段の資料につきましてはこの後説明させていただきます屋外重要土木構造物の耐震安全性評価において説明させていただいた内容ですので、簡単に説明させていただきます。557 ページをお願いします。
1:27:43	557 ページの図 2-6 に取水槽の南北方向の縦断図を示しております。
1:27:49	こちらの赤い丸で示しているところについてですけれども、こちらに施工ジョイントがありまして集金が連続しておらず、一体化していないといったことが確認できております。
1:27:59	続いて 559 ページをお願いします。
1:28:05	一方でですねジョイント要素よりも手前の、この下の図の 2-8 で左側ですけれども、除じん機エリアと接続している全カクダクト分。
1:28:14	下の図いう 2700 という先方書いてあるところですがけれども、こちらの一部区間について、
1:28:20	除じん機エリアとの接合部周辺に悪影響を与えることが懸念されるため、
1:28:24	非線形シェル要素により 3 次元でモデル化し耐震評価に使用する。
1:28:29	3 次元構造解析モデルと、
1:28:31	し、解析結果の比較を行いましたのでそちらについて説明させていただきます。
1:28:37	563 ページをお願いします。
1:28:42	比較検討を行いました検討ケースですがけれども、表 2-1 に示しております。
1:28:47	一方向採火東西方向の差異化の検討におきましては、全カクダクト部と接する部材、
1:28:53	具体的に言いますと、564 ページ次ページの黄色に示す部材、
1:28:58	を対象として、曲げ軸力系の破壊に対する照査値及びせん断破壊に対する照査値を確認し、照査値が最大となる地震動時刻を選定しております。
1:29:08	また 2 方向の検討におきましては、本文のほうに記載しております、水平 2 方向の差異化による評価において選定した時刻を使用して、
1:29:16	影響検討を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:19	565 ページをお願いいたします。
1:29:24	こちらに、一部全カクダクト分をモデル化した、3次元のモデルに対する境界条件を示しております。
1:29:31	全額ラクタムの与える荷重につきましては、
1:29:34	これ二次元の断面を切っておりませんのですぐ横にあります除じん機エリアに発生する常時及び地震時の荷重を設定して、評価を行っております。
1:29:44	566 ページ、比較項目。
1:29:46	2-3-3の比較項目についてですけれども、
1:29:50	全カクダクト部と除じん機エリアの接合部周辺に与える影響を確認するために断面力分布図により評価を実施しております。
1:29:58	評価の着目点を表 2-4 に示しております、
1:30:01	発生断面力の分布の傾向が大きく変わっていないか、接合部周辺に応力支持していないか、発生断面力の最大値が大幅に変動していないかという点で、比較を行いました。
1:30:11	続いて 567 ページ、次ページをお願いします。
1:30:17	これ以降、比較検討した結果を示しております。
1:30:23	比較検討の結果、曲げモーメント及びせん断力ともに、全カクダクト部のモデル化の有無による違いは見られず、概ね同様の断面力分布となっていることが見てわかるように、見てわかります。
1:30:36	このことから全カクダクト部のモデル化による、取水槽本体への影響はほぼないものというふうに判断いたしました。
1:30:44	続きまして 570 ページをお願いします。
1:30:48	このページ以降は 2 方向加振に対する比較の結果を示しております。
1:30:53	次ページ以降に、軸力、曲げモーメントせん断力に対する断面力の比較の絵を示しております。
1:30:59	こちら先ほどの一方向と同様に、各断面力ともに全カクダクト部のモデル化の部分による違いが見られず、概ね同様の断面力分布となっております。
1:31:08	また、妻壁や側壁等全額ダクト部の接続部に応力集中が発生していないことから、全額ダクト部のモデル化による取水槽本体への影響はほぼないものと考えております。
1:31:19	581 ページをお願いします。
1:31:23	最後にまとめですけれども、全角ダクト部のモデル化の有無による断面力の違いは見られず、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:29	また全国ダクトの接続部に応力集中が発生していないことから、全国ダクト部のモデル化による取水槽本体の影響はほぼないものと考えられます。
1:31:37	以上から、全額ダクト本モデル化していない現行の3次元構造解析モデルが妥当であることを確認いたしました。
1:31:43	以上です。
1:31:46	はい。規制庁の干明です。それではコメントNo.8No.9で参考資料3の内容について、確認する方、お願いします。
1:31:57	既設のエザキです私ノーコメントで回答していただいたというふうに理解してますんで、今回、3次元までか検討していただいて、実際には、
1:32:09	いわゆる
1:32:11	モデル化してない部分、全学部でしたっけ。うん。
1:32:15	その部分をモデル化しても基本的には応力集中が起きない。
1:32:19	ということ。それと、ねじれが起きやすい水平2方向の、
1:32:24	水平動を見たとしても変わらないということで、これで歴然としてわかりましたんで、私としてはこれで結構かと思っています。以上です。
1:32:37	はい。
1:32:39	規制庁、日浦です。すいません内容についてはですね、理解はしてきました。それで、ちょっと気になったのが566ページで、
1:32:53	解析結果評価における着目点ということで三つ挙げていて、それで二つのモデルを比較していくのがですね、次ページからですね568ページ以降にあるんですけど、
1:33:07	ちょっとこの規格の中で全体の鳥瞰図で、ちょっと断面力を比較していて、
1:33:17	先ほどのその566ページの着目点に対してですねこのこの全体、
1:33:25	鳥瞰図のコンターだけでですねなかなか判断しきれないなっていうところがですね、あったので、もう少しですね着目の部位のところをですね
1:33:35	部材を抽出していただいて、
1:33:39	そこをもう少し細かくしていただくとかで今ちょっと背面とかですね
1:33:46	見えなかつたりとかするので、その辺をもう少し、
1:33:50	説明補強していただきたいなと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:33:56	はい。中国電力です。内容承知いたしました。確かに見えないところもありますしわかりにくいところもありますので対象部材をピックアップした図を追加してまた説明させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:05	はい。それで 560、66 ページの着目点からですね 581 ページのまとめに至るところですね、そこで中身がですね確認できた。
1:34:16	ということですね、補強していただければというふうに思いますので、適正化ということをお願いしたいと思います。
1:34:28	はい。
1:34:28	それではじゃ、ほか、よろしければ、次の説明をお願いします。
1:34:35	はい、中国電力イワコケです。コメント回答は以上になりますけれども、1、
1:34:40	一部だけ、資料、新規で記載を追記したところがありますのでそちらを説明させていただきます。
1:34:45	資料番号 6 番で 487 ページをお願いします。
1:34:55	はい。こちらの水平 2 方向再開による評価結果ということで前回通じとしていた内容を、結果を記載しましたので説明させていただきます。
1:35:04	水平 2 方向再開につきましては、
1:35:07	か。
1:35:08	問要素の平均化を先ほどご説明しましたけれども実施しております、
1:35:13	平均化を実施した要素のうち、最も照査値が厳しい地震動時刻、これが取水層にとって最も厳しい時刻になりますので、
1:35:21	こちらを選定して水平 2 方向による、
1:35:24	評価を行っております。
1:35:27	水平 2 方向による評価に用いる解析ケースと地震動の組み合わせを表 6-179 に示しております。
1:35:35	曲げ軸力系の破壊に対する照査については、周方向では、Ss-D プラプラ解析係数 1、有効力解析の地盤物性平均が選ばれております。
1:35:45	これに対する 2 方向目の南北方向 10 方向の南北方向につきましては、
1:35:50	この考え方と合わせまして、同じく Ss-D プラプラでこちらは全応力解析を行っている断面ですので、全応力解析の地盤物性平均ということで考え方を合わせた
1:36:01	地震動を選定しております。
1:36:04	またせん断についても同様の考え方で解析ケースを選定をしております。
1:36:10	以降の表に 2 方向最下の曲げ軸力系の破壊及びせん断に対する評価の結果を記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:18	水平 2 方向再開における評価結果について各部材において最も厳しい照査値となる解析ケース及び地震動の組み合わせを、
1:36:26	1 ページ以降に示しており、同表により、コンクリートの圧縮ひずみ試験ひずみせん断力及び面内せん断ひずみがそれぞれの許容限界を下回ることを確認しております。
1:36:36	少し補足がありまして 491 ページをお願いします。
1:36:42	こちらにせん断破壊に対する調査を示しておりまして、
1:36:46	評価 1 と書いてある一番左ですけれども導入費のところに※4 という記載をしております。
1:36:52	※4 下を見ていただきますと、部材モデルを用いた健全性評価について参考資料 2 に示すということで、こちらについては平均化を行った後でも照査値を、
1:37:03	1 を上回るところがわずかに確認されたということで、
1:37:07	部材モデルを用いた健全性評価をこれから行います。この結果については本日まだお示しできておりませんので、こちらについては次回また結果をつけて説明させていただきます。
1:37:18	新規で内容を追加したところの説明は以上です。
1:37:24	はい。
1:37:25	それでは今の説明の内容について確認する点がある方。
1:37:31	古内。
1:37:36	規制庁の三浦です。
1:37:39	やられてる内容は理解できました。
1:37:43	それで下げれたその
1:37:45	平均化しても駄目なところは部材モデルを用いるってんで検討するっておっしゃってたんですけど。
1:37:51	イメージどういう見出してます。
1:37:56	はい、中国電力イワコケです。
1:37:59	資料 6 番の 544 ページをお願いします。
1:38:09	こちらは前回のヒアリングのときに説明させていただいたものですがけれども、
1:38:14	同じくですね出勤ひずみにおいて一部局所的に照査値を上回る場所があったというところに対する説明の資料になっております。
1:38:22	資料の、
1:38:26	550 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:34	このときの対象が、この 550 ページの右上の鳥瞰図の黄色で塗っているところですね、こちらを対象としましてええと、
1:38:45	部材モデルによる評価。
1:38:47	を行っております。今回は新たに導入ウエキでまた同じような結果が出ておりますので、まだ記載はできておりませんが、このときの考え方と同様な考え方で、
1:38:57	今評価を行っているところですのでその結果をまたご説明させてもらおうと思います。了解しました。
1:39:03	この時ってのは非常に、
1:39:06	560 ページの端について、境界条件等もわかりやすかったんだけど導入的にはちょっとその辺のところは、
1:39:12	ちょっと複雑かもしれないですね、その辺ちょっと気をつけて、
1:39:16	チェックしてください。よろしく願います。はい。私から以上です。
1:39:22	はい。規制庁チギラです。他はよろしいでしょうか。はい。それでは次の説明をお願いします。
1:39:32	はい。説明は以上でして、今回前回のヒアリングでいただいた、適正化のコメントについて、大部分は適正化させていただいたんですけども、
1:39:43	一部ですね、
1:39:45	配筋図に配慮金を追記することであったり循環水ポンプモーターのか融通の記載を拡充するといったことについて、ちょっとまだ一部対応できてないところがありますのでそれはまた次回ですね適正、
1:39:57	出してまたご説明させていただきます。
1:39:59	また適正化リストの内容に関する説明はございませんけれども、一つ適正化の修正をしたもののうち適正化リストに反映できてないものがありましたのでそちらを
1:40:09	簡単にご説明させていただきます。549 ページをお願いします。
1:40:17	こちら今、三浦さんからもお話がありました部材モデルを用いた評価に関するところですけども、
1:40:23	全体モデルではなくて部材モデルを取り出して評価をやる理由について、
1:40:29	記載を追記しておりますけれども適正化リストのほうに反映が漏れておりまして申し訳ありませんでした。こちらも含めて適正化を対応させていただいております。
1:40:36	こちらからの説明は以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:42	はい、わかりました。
1:40:44	それでは、次の説明をお願いします。
1:40:50	を、はい。中国電力のヨシモトでそれは資料の①と②を用いて、コメント回答及び審議の説明をさせていただきます。資料の一番、よろしくお願いします。
1:41:02	1 枚目、こちら、詳細設計の申し送り事項になっておりまして、57 と 58 を今回回答させていただきたいと思っております。こちらの方針の資料では今までご説明してきた内容なんですけれども、
1:41:15	個別構造物の説明が始まったということで、今回該当、
1:41:19	させていただくといったものになります。
1:41:22	それぞれもうすでにご説明した内容なので簡単に触れさせていただきますが、隣接構造 57 番が隣接構造物に関する申し送りで、58 番アライ原水に対する申し送りになっております。
1:41:36	回答についてはこちらに記載の通りです。以上です。
1:41:44	規制庁の矢崎です。
1:41:46	これね多分コメント内容と回答が、
1:41:51	マッチングしてないんだよね。
1:41:53	なぜかっていうと、
1:41:55	もうフローで整理しましたという話ですよ、問いかけは。
1:42:00	影響工事について説明することで、
1:42:03	いわゆる、
1:42:06	回答は、方針を変えて、
1:42:10	うんそう。
1:42:11	要は影響がどうだったのかっていう結果を基、
1:42:15	もう聞いて含めて聞いてるんだよね。
1:42:18	だけど、回答は、
1:42:20	方針はこういう方針でしてしか言っていないので、じゃあその影響があったのかどうか、または影響を含めて、設計に反映しましたっていうのか、
1:42:30	影響はありませんでしたっていうのがそれは全然回答がなってないんで、多分基本的にはこれ継続かなと思っていて、
1:42:38	回答ぶりだけじゃなくて、実際 2 号機、207 ページ。
1:42:44	とか、
1:42:46	これってあれだよ。
1:42:54	えっと、
1:42:57	補足説明資料の 2 番でいいんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:01	の 210 ページ。
1:43:04	とか開くと、
1:43:06	フローチャートで、
1:43:08	言うと、
1:43:09	さっき言っていた話ですね。
1:43:13	いわゆる
1:43:16	個別に書いてある隣接構造物の規模や、
1:43:20	応答特性を踏まえてっていうコメントがあつてですねそれと床応答の影響を考慮してって書いてあるけどフローをどこを見たらそれが書いてあるのかってのは、
1:43:30	明確じゃなくて、
1:43:32	そこをちゃんと書かないと駄目じゃないかなと思うんだよね。
1:43:37	いわゆる、
1:43:39	ここではさ、岩盤上に乗かってるっていうことでさ、運営の方で言うとかさ。
1:43:43	同等以上の大きさとか言ってんだけど、じゃ剛性とかさ。
1:43:47	流量、
1:43:48	とかいうキーワードがないですよ少なくとも、
1:43:54	安定性の三条の安定性、許可のさ、
1:43:58	安定性なんかでは、そういったキーワードが出てきて
1:44:02	どういようなモデル化する建屋をするのかって言ったときに、それで代表性として、どういう代表な代表性のある施設に対して、安定性計算しますかっていう話。
1:44:13	ではそういった剛性とかそういうのも、ある程度ね特に流量なんか入ってきていますよね。
1:44:18	そういった話が、
1:44:20	多分結果は変わらないんだけど、考え方として、そういうのが重要なんじゃないかなと思っていて、
1:44:27	あと
1:44:29	冒頭、
1:44:30	いわゆる応答、床応答の影響の考慮っていうと、さっき言ったその重量と構成であれば、ある種、
1:44:37	固有値の一つのパラメータにはなるんで、
1:44:41	そういった話があってもおかしくないのかなと思う。
1:44:45	あと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:46	隣接効果の
1:44:49	ね、隣接数をモデル化する隣接構造物をモデル化するってねなんで使った一つは、
1:44:56	地震時荷重の地震増分荷重の抑制効果んなと僕はねらってるんですよね。
1:45:03	建屋の陰に隠れて今日ね実際に荷重がかからないから、そうずっと合理的な設計ができるからという話が、
1:45:11	あるわけですよ。薄井。
1:45:14	それと、いわゆる、うん。
1:45:17	そうした場合にそれぞれの部が、基本的に、
1:45:23	何でもモデル化できますかっつたら、その後ろの後ろの方にあってちょっとやや八尾山名様なもの、Cクラスとして
1:45:31	C括弧Ssならわかるけどいわゆる耐震性のないものはモデル化できないわけですよ。そういった考え方なんじゃないですか。
1:45:39	いわゆるさ別クラスに準じている原子炉建屋をモデル化するっていうんだったら誰もそれはもう
1:45:46	Sクラスとかもモデル化しても、
1:45:48	何ら
1:45:49	問題ないんだと、要は、壊れちゃった先のことは考えね壊れちゃう田崎なんていうのを考えなくてよくて、逆に言うとノンクラスとかいうのもどうだったとしたら、
1:46:00	どうなるかわからないから、基本的にはそういう話があるわけですよ。
1:46:03	そういった話だとか、実際に、
1:46:06	それも隣接IIを、
1:46:10	効果を見る場合にうちのミウラがセンサーがよく行ってると思うんですけど、
1:46:15	いわゆる、
1:46:16	そのモデル化して、もたれかかるのはSクラスに、
1:46:20	と接触するような場合、またはその背実際に接触してるっていうことで、期待して設計するような場合、
1:46:27	であればそのもたれかかるほど事情もあるわけで、もたれかかる方は、そういう設計なんてやったらそれは許されない話になるので、そういったことも事情も含めて、やっぱり隣接物っていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:41	決めるんですよね、基本的には、そういったことを申されてると思うんですけど、そういった話は何もないんですよね。それが、そういった話がないと、一応回答したことにならないのかなと思っていて、
1:46:53	ここはもうちょっと、
1:46:55	逆に言うと、
1:46:56	丁寧な説明をしてくださいっていうところだと思うんですよね。
1:47:06	はい、中国電力の吉本です。はい。今ご指摘の趣旨は理解しましたコメントに対して、実際に何を確認してその結果どうなったのかというところの確認までができてませんで、
1:47:18	ちょっと補足させていただきますと、隣接建物を考慮したと同構造物側については、建屋は建築のモデルと、
1:47:28	一次こういう周期を合わせたもので、合わせることで、
1:47:31	妥当性を見ているというところになります、
1:47:38	はい。
1:47:42	はい。さっきおっしゃられたようにそのSクラスだとその壊れたとお考えなくていいとかそのクラスの話とかも、漏れてると思いますので、もう少し丁寧な記載にしたいと思います。
1:49:44	必要な時で基本的にはこの部分ですね、もう少し
1:49:50	いろいろなここに関してバラエティ。
1:49:53	バラエティがあるような、バラエティーがあるダンメンっていうか、構造物施設環境が多いので、
1:50:00	そういうことも含めてここである程度体系化する、できると、今後の 5、5.3 号機とかもありますから、ここも
1:50:10	設計として、より精度の高い設計ができるようになると思いますので、もう一度説明性の精度をちょっと上げてください。以上です。
1:50:24	はい。中国電力の吉本です。はいこの隣接構造物に関して、もう少し精度よく記載しようと思います。以上です。
1:50:31	はい、規制庁チギラです。それでは次の、
1:50:39	規制庁のハットリです。審査会合コメントの 58 番。
1:50:44	について
1:50:46	確認します。
1:50:47	今回
1:50:50	これまで各種構造物について、それぞれレーリー減衰の $\alpha \beta$ の設定及び保守性を考慮して設定されてると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:01	ということで、今回はないんですけど今までのヒアリングにおいてきちんと確認されていますので、この 58 番については了といたします。これはD判定ですので、
1:51:12	このヒアリングにおいて次の量といたしますのでお願いします以上です。
1:51:26	はい。
1:51:26	規制庁、日浦です。では次の説明をお願いします。
1:51:31	はい、中国電力の吉本です。それでは資料一番の 7 ページ目をお願いします。
1:51:41	こちら前回のヒアリングで受けたコメントになっておりまして、ナンバー63から回答させていただきます。
1:51:48	こちら、第 1 ベントフィルタ格納槽のCC断面における評価の考え方を整理して説明すること。
1:51:54	床例を踏まえましては構造物全体の評価の方針を改めて整理しましたので、資料 2 の 239 ページからご説明させていただきます。
1:52:16	失礼します。239 ページです。
1:52:30	こちら参考資料 2 としまして薄暮と構造物の評価について取りまとめております。
1:52:35	あと 2 ポツからですけれども、伯太構造物については、弱軸方向断面による耐震評価に加えて、弱軸方向断面で評価できない部材、
1:52:44	例えば教授方向の側壁等についても、協力方向断面を用いて同様の評価を実施することとしました。
1:52:50	で、これらの断面を二次元有限要素法解析で評価するにあたり、保守的に妻壁を、耐震要素として見込まない、すなわち、妻壁の剛性を平面要素として考慮しないものとします。
1:53:03	ただし、強軸方向断面については、弱軸方向断面と比較して妻壁同士の距離が近いこともあり、妻壁が耐震要素として寄与している割合が大きいので、妻壁を見込まないことが、過度に保守的な条件となってしまいますので、
1:53:16	教授方向の断面につきましては、保守的に妻壁を耐震要素として見込まない二次元有限予想解析、もしくは、妻壁による拘束効果をご提供が、
1:53:27	妻壁による拘束効果を固定境界として考慮した、4 辺固定盤により耐震耐震安全性を確認するという方針を記載させていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:36	評価の概念図につきましては次のページに記載させていただいております、
1:53:42	4.5 底盤の評価手法については、241 ページに記載させていただいております。
1:53:48	実際に 4 店舗テーマを評価する構造物におきまして、具体的な評価内容についてはご説明させていただく予定としております。
1:53:57	これらを踏まえまして最終的に箱型構造物の評価手法を整理したものが、資料 2 の 28 ページでございます。
1:54:08	資料 2 番の 28 ページです。
1:54:22	今回表 4 ポツ 2-1 として箱型構造物の評価方針を改めて整理させていただいております。
1:54:29	先ほど、コメントにありました第 1 ベントフィルタ格納槽については表の中段ほどにありまして、CC 断面については教授方向になりますが、耐震安全性評価については、
1:54:40	と黒丸で記載させていただいております、それについては妻壁を耐震を外染み込まない。
1:54:46	解析モデルを用いた評価を実施する方針としております。以上になります。
1:54:55	規制庁の服部です。はい。
1:54:58	今の説明については確認をいたしましたので、この
1:55:01	60 数※ヒアリングコメントの 63 番については了といたします。以上です。
1:55:10	はい、では次お願いします。
1:55:13	はい。続きまして資料①の 7 ページ。
1:55:17	ナンバー 65 についてご回答します。
1:55:21	こちら取水層になりますが、全カクダクト分の評価を不要とした理由が明確になるように説明すること。
1:55:27	回答欄に記載させていただいておりますが、先ほどもありましたが取水槽本体とは、縁が切れてますというのと、海水ポンプエリア A と比べまして、
1:55:38	内腔が小さいことや、長伴側壁底盤に十分なせん断補強金が入っており、エトゴな構造物であると考えられること、また機器配管系も支持していないことから評価不要である旨を追記しております。
1:55:52	ちょっと補足しますが資料②の 60 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:06	えっと 60 ページに、今申し上げた全額ダクト部の周辺の地盤の状況図を書かせていただいておりますけれども、他の面で比較しまして、岩盤に対する埋め込みも相当深いですし、
1:56:18	飛び出てる部分に関しても周辺を改良しておりますので、他の断面に十分評価が包絡されるものと考えております。
1:56:26	以上が、回答となります。
1:56:31	規制庁の服部ですはい。今のただいまの回答について、回答で言うること。
1:56:37	中国電力が、の考え方は非常によくわかります。
1:56:41	特にこの 60 ページにあるように、上も下も周りもすべて岩盤か地盤改良体に改良されているので、
1:56:50	おそらく多少の損傷で通水性が失われることは、定性的にはないかな。
1:56:56	しかも部材も非常に厚いというのを理解できる。
1:57:00	というのは理解できる。
1:57:02	その一方で、
1:57:04	ここも取水設備取水施設の一部ではあるので、
1:57:10	検討、何らかの検討をやらなくていいのか、定性的にはわかるんですけど、やらなきゃ、やる必要はないのかなっていうところで、
1:57:21	少し判断に少し迷っています。
1:57:24	それなので、
1:57:27	この点についてはちょっと私も今ちょっとここで、うんといえるかどうか少しちょっとわからないので、その見直す規制庁側の総意として少しか、
1:57:38	それから、
1:57:40	印をしたいんですが、いかがですかね。
1:57:43	そうですかね。はい。
1:57:46	予約日がない。
1:57:47	ですね。はい。私も、うん。ちょっと私の判断がつかなかったもので、規制庁の総意として、この点については良としたいと思いますはい。以上です。
1:58:04	はい。
1:58:05	それでは次のコメント回答をお願いします。
1:58:10	はい。続きまして資料、中国電力のヨシモトです資料 01 の 7 ページ、ナンバー66 になりますが、隣接する浄化槽について構造を確認した上で埋め戻し量としてモデル化する理由を明確にして記載すること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:24	こちらの回答欄に記載しております通り、浄化槽については鉄筋コンクリート製の構造物であるため、地質断面図中に、鉄筋コンクリート製であるのがわかるように構造図を修正しております。
1:58:36	ただ、この構造物に関してはノンクラスであり、
1:58:39	衛藤。
1:58:40	それに、
1:58:42	その主たる評価をしている緊急時対策所用燃料地下タンクの解析上は、埋戻度としてモデル化する方針については変更しておりません。以上になります。
1:58:54	規制庁の服部です。1点だけ確認させていただきます。
1:59:02	この緊急時対策所用燃料地下タンク、この
1:59:06	耐震評価、または共同評価の補足説明資料とか、添付でもいいんですけど、そこにおいて、
1:59:21	この浄化槽はノンクラスなので、保守的に
1:59:27	芽室白でモデル化しますという旨の説明はなされてるんでしょうかどうぞ。
1:59:35	はい。中国電力の吉本です。
1:59:39	ちょっと内容を確認しますが、今後コメント回答を控えておりますんで、不足があれば追記させていただこうと思いますが、衛藤イシイ宗当社、おっしゃる通りでノンクラス等で埋め戻し動、
1:59:50	なのでそれを記載するようになりたいと思います。
1:59:52	規制庁の服部ですはいなければ記載していただいていることによってこのコメントについては了といたします。以上です。
2:00:02	はい。
2:00:04	規制庁平です。それでは次のコメント回答お願いします。
2:00:08	はい。中国電力の吉本です。資料1、最後になりますが7ページのNo.68。
2:00:14	こちら地盤の支持性能で過去に受けていたコメントですが、こちらの方で回答する旨、
2:00:22	方針にしておりましたが、こちらの方でまだ回答が漏れてましたので今回追加をさせていただきました。
2:00:28	コメントの内容としては、置換コンクリートの評価として、評価について地盤と扱うかどうか整理して説明すること。これも回答欄でご説明しますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:38	置換コンクリートについては同斜制限等目的として、構造物の周辺に配置している無菌コンクリートになりますので、地盤として扱うものではないんですが、構造、構造物の耐震評価上考慮する必要がある場合は健全性を確認する方針としております。以上になります。
2:00:56	はい。ここに書いてあることはわかりましたけども、
2:01:03	これは参考資料 242 ページ目のところ以降に具体的な表現がされてるっていいんですよね。
2:01:12	これで見ると、
2:01:15	置換コンクリートは動圧低減を目的として排出向きコンクリートであるってことはわかりました。
2:01:22	で、
2:01:22	それは健全性を確認するというので、
2:01:27	せん断強度と引張強度に対する局所安全係数が 1.0 以下で異常であることを確認しているということになるわけですね。
2:01:36	引っ張り強度が
2:01:39	1.0 を超え、
2:01:41	以上ってことは、
2:01:43	基本的にひび割れが入るようなことはないという考え方でいいんですかここは。
2:01:50	ということですよ。イメージとしては、
2:01:53	わかりました。
2:01:54	で、
2:01:55	ただその下の名簿の紙コンクリートは、
2:01:59	岩盤と隣接との間を埋め戻すと目的入れて無菌国土である。
2:02:06	で、
2:02:07	これわあ、ソフト置換コーポレイトと上戻すコンクリートの目的が違う。
2:02:12	で、
2:02:13	ただこの場合は地盤として扱うって書いてあるんですけど、
2:02:19	地盤として扱うけれども評価は不要っていうふうに、
2:02:24	244 ページ目は書いてあるんだけど、
2:02:28	そういう判断。
2:02:31	になるってことですか。
2:02:34	はい。中国電力の吉本です。はい。衛藤。
2:02:37	置換コンクリートと埋戻コンクリートの違いについては、それがなければ、対象構造物自体が、耐震性満足できないっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:47	ところにかかっているとってまして、今、
2:02:51	資料②の 242 ページに記載しております通り、
2:02:55	衛藤、
2:02:58	図の 2-1 で、地図断面図を示しておりますが、一番右側の構造物低 圧原子炉代替注水ポンプ格納槽に着目していただくと。
2:03:07	右側は置換コンクリートで、左側梅干コンクリート、これは第 1 ベントフィ ルタ格納槽とこの構造物の間に挟まれていて、基本的には、
2:03:18	棒なものに囲まれていてこのコンクリートが損傷することはない、もしく は、こいつがなかったとしても、構造物自体の安全性は満足されるもの として、こちらも定性的にはなりますが評価不要というふうに判断をして おります。
2:03:31	対して
2:03:33	東側、右側に位置してます置換コンクリートについては、当該構造物に 対して動圧が作用するのを、妨げる目的で、必要なのであればこの健 全性を確認するという、
2:03:43	ふうな識別で、仕分けをしております。以上です。
2:03:50	こういう区分けでやるってことはわかりましたけど、
2:03:53	置換コンクリート部っていうのは今、これ、この例えば、
2:04:00	図の 2-1 で見ると、
2:04:03	建物等、それから、この、この茶色で示したのは何でしたっけ。
2:04:11	土、
2:04:13	アオヤマとしたってことですか。
2:04:14	そうすると、上本 1、
2:04:19	建物の間のわあの無菌コンクリートは置換コンクリートとして評価する と。
2:04:25	で、地盤の中に埋もれてる埋戻しコンクリートは、
2:04:31	評価しない。
2:04:33	ということですね。
2:04:36	建物建物間のですか。
2:04:41	そういうことですね。
2:04:43	だから、横にあるものが岩盤なのか、埋戻しかどうかによって扱いが変 わるっていうことですよ。イメージとしては、
2:04:59	動圧低減とか埋戻し動のど厚低減ってことですよ。イメージとしては、
2:05:13	うん。
2:05:17	時間遅れとか、漂流物対策みたいな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:23	うん。わかりました
2:05:25	埋め戻し土のう9度圧低減っていう表現の方がいいんじゃないですかここ。
2:05:32	わかりました。中身については了解しました。理解いたしましたので、
2:08:14	はい。
2:08:15	それでは
2:08:17	60のコメント回答以上ですかね適正化とか何か、
2:08:22	特質でありますか。
2:08:24	中国電力の吉本です。今回新規で追加したところが5分程度説明があるんですがよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
2:08:35	はい。中国電力の吉本です。それでは、新規で追加したところ、資料②の265ページ。
2:08:41	からご説明いたします。
2:08:52	えと265ページから参考資料8としまして等価剛性モデルにおける鉛直方向床応答への影響について、
2:08:59	整理しております。こちらの取水槽等であります。三次元に、
2:09:04	荷重を与える際の二次元モデルの剛性調整の話になります。
2:09:09	1ポツ概要の2パラグラフ目になりますが、
2:09:13	補正係数ベータというものが、2次元等価剛性モデルの平面応力及び梁要素に対して設定されており、能力要素については、水平鉛直で当方のため、
2:09:24	方向に応じて剛性の変更をすることができず、今回水平方向に対して β というものを設定しておりますので、鉛直方向への影響どうなのかという観点でこの資料を整理しております。
2:09:36	268ページをお願いします。
2:09:44	268ページに、応答スペクトル、こちら鉛直方向のものになりますが、どのような差異があるというか、あるのかというところを整理しております。
2:09:54	赤字で赤線で示してますのは、今回使ってる剛性調整後のもので青線が、 $\beta = 1$ 覧で調整してないものになっております。
2:10:05	江藤。これを見ると、調整後というのは、調整しないケースと比較して、概ね同等、もしくはやや大きいようなスペクトルになってるのかなというふうに考えております。
2:10:17	以上から、今回の剛性調整モデルを用いた円弧鉛直方向の応答への影響は軽微であると判断しております。
2:10:24	続きまして270ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:33	270 ページから参考資料 10 としましてジョイント要素のばね定数の妥当性確認結果についてということで、
2:10:40	こちら概要に示しております通り、ジョイント要素のばね定数は、数値計算上、不安定な挙動を起こさない程度に、周辺材料の剛性よりも、十分大きな値を設定するというふうに屋外重要土木のマニュアルに記載がございます。
2:10:55	今回島根におきましては表 1-1 に示しております通り、圧縮せん断ともに剛性が 1.0×
2:11:02	10-7 乗キロニュートンパー立米で設定をしております。これはシマダの構造物の間で、課題とされ周辺に存在している岩盤が、
2:11:13	圧縮せん断ともに 10-6 乗オーダーになりますので、それより大きめに設定してるといものになっております。
2:11:21	次のページをお願いします。
2:11:27	271 ページ、表 2-1 で検討ケースを記載しております、標準の A とケース 2 に対してケース 1 決算で、ばね定数の倍率を 0.1 倍、10 倍に振ったもので検討しております。
2:11:40	対象は、ジョイント要素が、構造物並びに周辺地盤に多数配置してあります取水槽 A 断面を選定しております、Ss-D++ を代表として確認をしております。
2:11:54	274 ページをお願いします。
2:12:01	274 ページにおきましては、結果としまして、ジョイント要素の面における滑りや剥離がどのように生じているかを整理しておりますが、
2:12:11	時イデで黄色で示しております 0.1 倍のものが、滑り剥離が生じやすいものになっておりまして、壱番屋 10 倍ではほぼ同等の結果となっていることがわかります。
2:12:23	次のページをお願いします。
2:12:29	275 ページ、276 ページでは、加速度応答スペクトルを比較しております、277 ページには、側壁に作用している動圧を整理しております。
2:12:41	こちら 1 倍と 10 倍では、概ね概ね同等の結果となっております、
2:12:48	今回の島根における上位でその剛性の設定については妥当と判断しております。
2:12:55	続きまして、
2:12:58	同じ資料の 278 ページをお願いします。
2:13:06	こちら参考資料 11 としまして、浮き上がり評価というものを記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:11	本資料においては、静水圧、常時の静水圧に対する浮き上がり評価を実施しております。
2:13:17	これの、
2:13:18	評価のキックとしましては、嶋においては設計地下水をかなり高く設定しておりますので、
2:13:24	衛藤。
2:13:26	ある特定の構造物におきましては、構造物よりも地下水が高く地表付近まであるものがございます。それに対して浮き上がらないのかという観点で整理をしております。
2:13:37	今回の対象になってるのは表 1-1 に示せる構造物になります。
2:13:42	衛藤。また、1 ポツ概要の
2:13:46	なお書き以降で中段のなお書き以降ですが、
2:13:50	屋外配管ダクトBディーゼル燃料貯蔵タンクから原子炉建物のCC断面につきましては、こちら有効力解析を実施する構造物になっております。
2:13:59	なので、常時の状態に加えて、周辺地盤が液状化した際の、
2:14:05	過剰間隙水圧の上昇による浮き上がりというものも別途考えられますので、
2:14:09	地震応答解析の結果を踏まえて、過剰間隙水圧の分布を確認した上で、その構造物の補足説明資料の中で、地震時の検討については、実施する方針としております。
2:14:21	それでは、301 ページをお願いします。
2:14:32	301 ページには今回の浮き上がり評価の評価条件を整理しておりますので、
2:14:37	2 ポツ 3 ポツ 1 に記載しておりますように、表 2-1 に記載しております物性値を用いております。
2:14:45	浮き上がりに対する抵抗力としましては、上載度の荷重及び、構造物の自重のみ考慮することとし、それ以外の機器配管荷重等については保守的に考慮しないこととしております。
2:14:58	また 2 ポツ 3 ポツにありますますが、もともとの式の中にはせん断抵抗や摩擦成功というものもございますが今回、こちらも保守的に 0 としております。
2:15:10	次のページに、
2:15:12	行っていただきまして 302 ページに評価結果をお示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:17	あと一部の構造物で、浮き上がりの照査値を超えているものがござい ますが、そちらについては、
2:15:24	実際に入ってます。乾燥ずな、いや、中に内包されてます水等を踏ま ると、十分に請負に対して抵抗力が確保できるものとなっております。
2:15:36	ここまでが新規のご説明になります。
2:15:42	はい。
2:15:43	それでは今説明していただいた内容と、あと、屋外重要土木の補足説 明資料全体、それと先ほどのですね、取水槽の補足説明資料全体、
2:15:56	ですねちょっと確認がある方。
2:15:59	お願いします。
2:16:07	規制庁のハツリです。すいません 1 点だけ確認させてください。2 点ほ ど、
2:16:12	最後の 302 ページにあるところの、
2:16:18	構造物内に内包された淡水とか、そういうのを考慮してるということなん ですけど。
2:16:22	これはす。
2:16:24	最低でもこんだけはあるよという、そういう水だとか、ナカノ燃料だとか、 そういうものでやってるということによろしいですよ。
2:16:36	はい、中国電力の吉本です。衛藤。
2:16:39	今 302 ページの図の 3-1 に記載しております。ディーゼル燃料貯蔵タ ンク格納槽に入ってる乾燥図なについてはこちら消防法で定められて おりまして、これは内容物が増減するものじゃ、
2:16:52	ございませぬが、
2:16:54	表 3-1 の※2 のところに書いております。低圧原子炉代替注水ポンプ 格納槽の
2:17:01	内容水については、今、都内水位が 11.2 メーター。これ動解の動水圧 の設定と同じにしておりまして、なので、今保守的に高い値になっては、
2:17:14	おりますが、
2:17:16	常時での検討なので、地震時に注水するものなので実際所の状態でそ の水が減ることは想定されてませんが、
2:17:25	点検等で水が減ることも、
2:17:28	と。
2:17:29	媒体はあるかとは思いますが、その場合にはその別のところで保守性 を見てます、摩擦。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:34	等を加味することで十分に請け合いに対して抵抗できるものというふう に考えております。以上です。
2:17:41	規制庁の服部です。
2:17:44	常時においては 11.2 メートル、EL10.2 メートルを保持したまま、
2:17:50	だということですよ。常時、もっと低い位置にあつて、動解だから保守 的に高い位置に設定して付加重量を考慮しているということじゃないん ですよ。
2:18:05	はい、中国電力の吉本です。江藤今野 11.2 メートルというのは、この構 造物に対して、
2:18:14	実際に来訪される水のは、一番上、上の点で取って、
2:18:20	おりますので、
2:18:22	一番高くてもこの推移。
2:18:24	という設定になってます。以上です。
2:18:28	規制庁のハツリそれだ等、
2:18:31	それだと、その地震が来たときに、実際どこの位置に水があるのかって いうところの、
2:18:39	最も保守的な値で浮力は評価しなきゃいけないと思うので、
2:18:45	そこはちょっと
2:18:49	確認していただけますでしょうかどうぞ。
2:18:53	はい。中国電力の吉本です。
2:18:55	はい。今回、どうかイトウの設定水あんまりいろんな水をだしてはまずい だろうなと私の考えでそういうふうにしてしまったんですけども照査値 見ていただいてもわかるように十分に
2:19:05	1.03 から抵抗力を少し見れば、満足するようなものだと思っておりますの で、もうちょっと水位のところを見直して、今後適正化しようと思ひます。 以上です。
2:19:16	規制庁のハツリですわかりました。ちなみにこの乾燥図だとかこういう 重量はどうかのときは、
2:19:22	出典付付加重量として考慮しているということによろしいですか。
2:19:26	はい。中国電力の吉本です。この観察についてもおっしゃる通り、重量 として見ておまして、それは個別構造物の補足する説明資料でご説 明予定です。
2:19:36	規制庁のハツリですわかりました私から以上です。
2:19:42	規制庁の江寄です。これって第 1 フィルベント格納槽とか、その下の、
2:19:48	もう代替注水、各ポンプ格納沿って、穴ぼこ開けちゃうんだけど

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:53	基本的には変わらないんでね結論は。
2:19:56	側面の、地盤抵抗は見てないってさっき言ったから、基本的にはそれは結論は変わらないって。
2:20:05	いや、それでよろしいですよ。基本的に、
2:20:09	地下水は中央目まで、
2:20:11	まあまああればいいのか溢水で評価するから、
2:20:14	いや、いわゆる水が、
2:20:16	溢水して中に入ったときは、それはいつ評価の方で検討してくれるから、うん。
2:20:22	わかりました。
2:20:36	規制庁の目指すもう手早く。
2:20:39	今ご説明なされた数、例えばその α β で鉛直方向と、この辺で先行機でやられていたからやったってことの理解でいいですね。
2:20:53	はい。中国電力の吉本です。おっしゃる通りで女川サイトで実施されておりましてしまいにおいてもこれは確認必要かなという判断で、追加しました。内容的には問題ないと思います。
2:21:05	あとちょっと行く点だけ確認してもらおうとか、もらいたかったのが、資料6の取水槽でね。
2:21:12	309 ページ。
2:21:14	急にこう資料変わっちゃってごめんなさい、資料6の309 ページとかで、
2:21:21	ここに
2:21:24	最大ひずみの分布とか出てきてますよね。
2:21:27	これって表のどっかとリンクしてるんですか。
2:21:32	例えば6610って出てきてるじゃないですか。それって何か断面検討多分最大だから、一番大きいところを見示してねどっかの表に出てくる数字ですよ。
2:21:44	ちょっとその関係を教えてください
2:21:46	はい中国電力です。この308ページの調査結果で一番厳しくなっているもの側壁で、詳細ひずみ7932マイクロというものがあります。
2:21:56	309ページの6610マイクロが今回出ておりますけれども、これに構造解析係数の1.2を掛けると、この7930になるということで、この表と図が対応するようにはわかりましたということね。1.2倍入ってるから、
2:22:11	あ、わかりました。それで理解しました。はい。もう数字が合わないと思って。はい。私はそれで結構です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:21	規制庁の服部です。ちょっともう1回、念のため確認させてください。先ほど機械コンクリートと埋戻部とンクリートの話があったんですけど、
2:22:29	置き換えコンクリートは健全性を評価する、埋め戻しコンクリートは、しないということで、それは全施設共通なので、どこの資料を見ても、
2:22:40	その考えは一緒だという認識でよろしいですか。
2:22:44	はい。中国電力における認識の通りで、置換コンクリートをモデル化する場合には健全性評価を行うということで、
2:22:51	置換コンクリートを保守的に埋め戻しでモデル化してるものもありますけれども、モデル化した場合には、全施設共通の考え方で対応しております。
2:22:59	規制庁のハツリですわかりました今後あの資料を見るときにそういうふうを目指すのでよろしくお願ひします。あと最後ちょっとこれはをね、コメントとして残しませんお願ひですけれども、先ほどアノイダ面の話が少しあったんですけど、
2:23:11	中国電力側から、周囲が地盤改良とかで、
2:23:18	全部拘束されてるということは、回答欄に少し書いてないので、それは書いといてもらってもよろしいですか。
2:23:27	はい。中国電力です。承知いたしました。追記させていただきます。規制庁の羽鳥ですよろしくお願ひします私から以上です。
2:23:35	はい。規制庁チギラです他何かありますか。
2:23:40	はい。よろしいですかね。
2:23:41	はい。
2:23:42	中部電力側から大丈夫ですか。
2:23:45	はい。中国電力からのご説明は以上になります。はい。それでは午前中のヒアリングを終了いたします。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。